

資料編



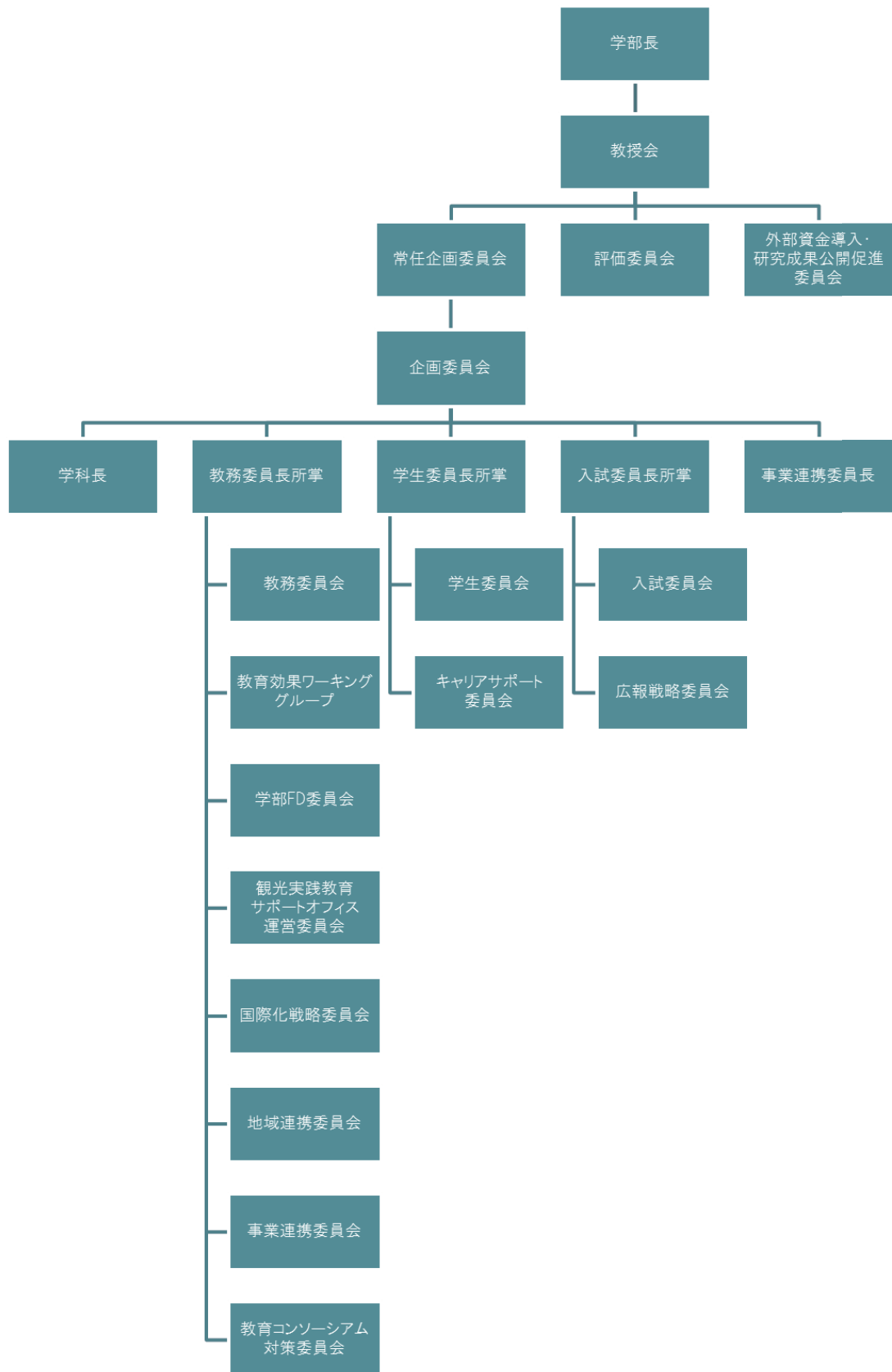
目次

1. 沿革
2. 学部組織図
3. 役職者一覧
4. 名誉教授一覧
5. 観光教育研究アドバイザーボードメンバー一覧
6. 観光学部／国際観光学研究センター（CTR） 教員一覧
7. 退職教職員一覧
8. 施設概要
9. 学部について
 - 9-1. 入学志望者数・受験者数・合格者数・入学者数の推移
 - 9-2. 都道府県別入学者数の推移
 - 9-3. 卒業生の進路状況（民間／公務員／進学、業種別）
 - 9-4. 主な就職先・進学先一覧
 - 9-5. 入学試験制度の変遷
 - 9-6. 地域インターンシップ（LIP） 年度別 テーマ・参加者数一覧
 - 9-7. Global Intensive Project（GIP） 年度別 テーマ・参加者数一覧
10. 大学院について
 - 10-1. 入学志望者数・受験者数・合格者数・入学者数の推移
（a. 博士前期課程（修士） / b. 博士後期課程）
 - 10-2. 都道府県別入学者数の推移
（a. 博士前期課程（修士） / b. 博士後期課程）
 - 10-3. 修了生の進路状況（民間／公務員／進学、業種別）（博士前期課程（修士））
 - 10-4. 主な就職先・進学先一覧（博士前期課程（修士））
 - 10-5. 入学試験制度の変遷
11. 研究資金の獲得実績
（科学研究費 / 共同研究 / 受託研究および受託事業 / 寄附金）
12. 講演会・セミナー・公開講座等 開催実績（観光学部主催・共催）
13. 観光学部／和歌山大学観光学会発行 各種出版物一覧
14. 観光学部特別研究員一覧（2013年度～2015年度）
15. 学生表彰一覧
（成績優秀学生表彰 / 学部長表彰 / 観光学部卒業論文賞／観光学研究科修士論文賞）
16. 紀州高野組子細工「高野山黎明」

1. 沿革

2007（平成19）年			
4月	経済学部 観光学科設置		
2008（平成20）年			
4月	観光学部設置（観光経営学科・地域再生学科）	特別研究経費： 観光振興からの《地域ルネサンス》ビジネスモデルの構築—紀伊半島から発信する『地域の魅力』の創発研究—	
6月8日	和歌山大学創立60年記念式典及び観光学部設置記念式典 （会場：ホテルグランヴィア和歌山）		
12月18日	和歌山大学観光学会 設立		
2009（平成21）年			
2010（平成22）年			
12月	観光学部棟建設開始	特別研究経費： 観光概念の革新によるブランディングビジネスモデルの創造	
2011（平成23）年			
4月	大学院観光学研究科 修士課程設置		
5月	観光学部棟 竣工		
8月11日	和歌山大学大学院観光学研究科設置記念シンポジウム （会場：観光学部棟 T-101 教室）		
11月	観光学部内に観光教育研究センター設置		
2012（平成24）年			
2013（平成25）年			
2014（平成26）年			
4月	大学院観光学研究科 博士課程設置	特別研究経費： 観光研究の高度化・国際化推進による次世代型観光モデル創出プロジェクト	
4月28日	和歌山大学大学院観光学研究科博士課程設置記念式典 （会場：ホテルグランヴィア和歌山）		
2015（平成27）年			
2016（平成28）年			
4月	観光学部再編 （観光学科 観光経営コース・地域再生コース・観光文化コース）	機能強化予算： 観光研究におけるアジアのハブ拠点の構築に向けた研究高度化・国際化プロジェクト（2015（平成27）年度）～2018（平成30）年度）	
4月	国際観光学研究センター（全学機関）設置		

2. 学部組織図



※2017年3月現在

3. 役職者一覧

年度	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
経済学部長	竹内昭浩									
観光学部長		大橋昭一			山田良治			藤田武弘		
評議員	乗杉澄夫	川端保至		竹林明	西村尚剛		竹鼻圭子			
評議員	森口佳樹	山田良治			田中豪		出口竜也		廣岡裕一／尾久土正己	尾久土正己
副学部長		—	小畑力人	藤田武弘			神田孝治			
副学部長		廣岡裕一						尾久土正己	北村元成	
副学部長		竹林明		大津正和		竹鼻圭子	田中豪	加藤久美		
経済学部 観光学科長	川端保至									
観光経営 学科長		大津正和		出口竜也			西村尚剛	廣岡裕一	竹林明	
地域再生 学科長		藤田武弘		米山龍介			加藤久美		堀田祐三子	
観光学科長										吉田道代
大学院 観光学研究科長					山田良治			藤田武弘		
事務(室)長	※1	大道弘三			池下和美	森中崇文			門田充浩	
総務係長	※1	(10/1～) 稲垣みよこ			山田晋也		森本充昭		西川晴義	
教務係長	※1	山田純			稲垣みよこ			(7/1～) 渡邊武夫		

※1 2007.11.1 付け 観光学部設置準備室 室長：大道弘三、総務係長：欠員、教務係長：山田純

4. 名誉教授一覧

授与年月日	氏名	専門分野	採用年月日	退職年月日	備考
2011.4.1	大橋 昭一	観光学原理、経営管理、ブランディング	2008.4.1	2011.3.31	初代学部長
2014.4.1	川端 保至	会計、コンピュータ会計、財務分析	2004.4.1	2014.3.31	
2016.4.1	田中 豪	情報処理、情報管理システム	2003.11.1	2016.3.31	

5. 観光教育研究アドバイザーボードメンバー一覧

氏名	職名	発令日
西村 幸夫	東京大学工学部都市工学科教授	2015.4.1
大橋 昭一	和歌山大学名誉教授	2015.4.1
山村 順次	千葉大学名誉教授	2015.4.1
前田 勇(*)	立教大学名誉教授 (日本観光研究学会 名誉会員)	2015.4.1
西阪 昇	ラグビーワールドカップ 2019 組織委員会事務総長代理	2015.4.1
高見 茂	京都大学大学院教育学研究科教授	2015.4.1

Stephen Craig-Smith	Project Chair of Queensland Education Accreditation Council for Hospitality & Tourism	2016.4.1
Lisa Ruhanen	A/Prof, School of Business (Tourism) The University of Queensland	2016.4.1
橋本 和也	京都文教大学総合社会学部教授	2015.4.1
藤巻 正己	立命館大学文学部教授（文学部長）	2015.4.1
橋爪 紳也	大阪府立大学特別教授	2015.4.1
西山 徳明	北海道大学観光学高等研究センター教授（観光学高等研究センター長）	2015.4.1
吉兼 秀夫	阪南大学国際観光学部教授	2015.4.1
本保 芳明	首都大学東京都市環境学部特任教授	2015.4.1
川森 博司	神戸女子大学文学部教授	2015.4.1
内田 忠賢	奈良女子大学研究院教授	2015.4.1
平岩 孝一郎（*）	日立キャピタル株式会社取締役	2015.4.1
滝本 徹	一般社団法人日本介護事業連合会理事	2015.4.1
壬生 基博（*）	森アーツセンター副理事長	2015.4.1
山崎 直子	元 JAXA 宇宙飛行士 / 宇宙政策委員会委員（内閣府）	2015.4.1
見並 陽一	（株）びゅうトラベルサービス顧問（非常勤）	2015.4.1
菊間 潤吾	一般社団法人日本旅行業協会 副会長	2015.4.1
鈴木 寛	文部科学省大臣補佐官、東京大学大学院公共政策学連携研究部教授、 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科兼総合政策学部教授	2015.4.1
青木 義英（*）	和歌山大学客員教授（観光学部）	2015.4.1

※職名：2016年12月現在の職名 （*）：観光教育研究協議会委員

6. 観光学部 / 国際観光学研究センター（CTR） 教員一覧

氏名	職名	専門分野・担当業務等	在籍年度											
			07	08	09	10	11	12	13	14	15	16		
伊藤 央二	講師	余暇・レジャー学、文化心理学、 スポーツツーリズム											●	●
大井 達雄	教授	経営学、観光経営、 企業不動産経営、観光統計					●	●	●	●	●	●	●	●
大浦 由美	教授	森林・林業政策、森林リクリエーション、都市農村 交流、協働	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
尾久土 正己	教授	天文学、超臨場感映像、ミュージアムマネジメント、 宇宙（科学）と観光		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
小野 健吉	教授	造園学、文化遺産マネジメント												●
加藤 久美	教授	環境倫理、精神文化遺産、持続性、 ローカリズム、創造		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
神田 孝治	教授	文化地理学、観光地理学、 表象文化学、空間論	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
木川 剛志	准教授	建築・都市形態学、映像を用いた地域プロデュース、 地域研究											●	●
北村 元成	教授	グラフィックデザイン、ブランドデザイン、サイン	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

佐々木 壮太郎	教授	消費者行動、マーケティング、新製品	● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
佐野 楓	准教授	サービス・マーケティング、顧客関係管理	● ●
澤田 知樹	准教授	行政法、行政における参加・交渉	● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
竹田 明弘	准教授	サービスマネジメント、経営組織	● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
竹鼻 圭子	教授	文化交流、日本文化、茶道文化、 認知言語学、英語教育、翻訳論	● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
竹林 明	教授	人的資源管理論、組織行動論、 デスティネーション・マネジメント	● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
竹林 浩志	准教授	観光戦略、組織、リーダーシップ	● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
出口 竜也	教授	経営理念、経営組織、経営戦略、 比較研究、経営人類学	● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
中串 孝志	准教授	惑星大気科学、科学コミュニケーション、 サイエンス・ツーリズム	● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
永瀬 節治	准教授	都市デザイン、まちづくり	● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
東 悦子	教授	移民研究、英語教育、 異文化間コミュニケーション	● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
廣岡 裕一	教授	旅行取引、法政策、契約、 サービスマーケティング	● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
藤田 武弘	学部長、教授	都市農村交流、農工商連携、 食農教育、フードシステム	● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
堀田 祐三子	教授	都市計画、住宅政策、住民参加、 まちづくり	● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
八島 雄士	教授	管理会計、業績測定、社会的企業、 パークマネジメント	● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
山田 良治	理事、教授	経済学、空間政策、都市農村政策、 まちづくり、景観政策	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ○ ○
吉田 道代	教授	人文地理学、地域研究、観光学	● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
米山 龍介	教授	オーボエ、合奏、指揮、 音楽プロデュース、癒し	● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
Simon Wearne	特任助教	国際化戦略資料作成（パンフレット、DVD、HP 用グ ラフィック）、学部各行事、諸活動の記録（写真、 ビデオ、サウンド）、各種プロモーション活動	● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
濱島 朋子	キャリアセンター観光学 部特任助教	キャリアデザイン、就職支援	● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
上野山 裕士	観光実践教育サポートオ フィス特任助手	地域連携	● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
金岡 純代	観光実践教育サポートオ フィス特任助手	大学間連携	● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
中辻 晴香	観光実践教育サポートオ フィス研究支援員	観光デジタルドームシアター	● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

※「○」は理事として兼務

氏名	職名	研究分野・担当業務等	在籍年度												
			07	08	09	10	11	12	13	14	15	16			
Abhik Chakraborty	国際観光学研究センター講師	景観と観光、 複合的環境システム（社会生態系）、 持続可能な観光、 ネイチャー・ベースド・ツーリズム													●
Adam Doering	国際観光学研究センター准教授	自由、帰属、相関性、変遷と創造、 及びサステナブルな旅行と移動、 モビリティ研究												● ●	
Amnaj Khaokhruemuang	国際観光学研究センター講師	ルールコミュニティ開発の持続可能性、地域再生、 農業と観光、 自然・文化ツーリズム													●
永井 隼人	国際観光学研究センター講師	観光行動論、 ツーリズム・マーケティング、 ツーリズム・リスクマネジメント													●
中元 一恵	国際観光学研究センター チーフコーディネーター	観光学研究・教育支援												● ●	

8. 施設概要

2007年4月経済学部観光学科、翌2008年4月に国立大学初の観光学部として発足した本学部の学部棟は、和歌山県で生産される木材「紀州材」をふんだんに使用した、木造で立てられた全国的にも珍しい大学施設です。

観光学部の窓口ともいえるべき、エントランスをはじめ、144名収容の教室やイベントの開催や学生の憩いの場である多目的スペースを有する本館棟、観光学部各教員の研究室や会議室を配置する研究棟、そしてスタジオ2室と360度の映像（全天周映像）で、臨場感あふれる映像体験のできる観光デジタルドームシアターを有する観光ドーム・スタジオ棟から構成されます。



観光学部棟

■ 本館棟

観光学部の窓口ともいえるべきエントランスをはじめ、事務部、教室、多目的スペースを有しています。

- 教室（T-101）：
観光学部棟の教室です。144名が収容できます。
- 多目的スペース：
観光学部をはじめ、和歌山大学における様々なイベントを行う場所です。また、学生のミーティングスペース、憩いの場所としての役割もあります。



観光学部棟（正面）



観光学部棟エントランス



教室（T-101）



多目的スペース

■ 研究棟

観光学部各教員の研究室、および演習型の授業や学生の自主活動などでのワークスペースとして利用できる「観光プロジェクト演習室」、会議室のほか、観光教育・地域や他大学との連携・地域インターンシップ（LIP）に関する業務を担う「観光実践教育サポートオフィス」を配置しています。

□ 観光プロジェクト演習室：

ミーティングや作業に利用できるスペースに加え、画像や動画の編集などが可能なパソコンが設置されています。プロジェクト演習などの演習型の授業や、観光学部教職員および観光学部生の自主的な演習活動のワークスペースとして利用できます。

□ 観光実践教育サポートオフィス：

観光実践教育サポートオフィスでは、観光教育、地域や他大学との連携、地域インターンシップ（LIP）に関する資料収集・提供、計画、実施、広報において、本学の教職員・学生ならびに学外共同研究者のサポートを行っています。また、地域の方々、企業、自治体などと観光学部をつなぐ窓口機能も担っています。このほか、観光学部・観光学研究科在籍学生に限り、観光学部卒業論文・修士論文を閲覧することが出来ます。



研究棟



観光実践教育サポートオフィスミーティングスペース



テラス

■ 観光ドーム・スタジオ棟

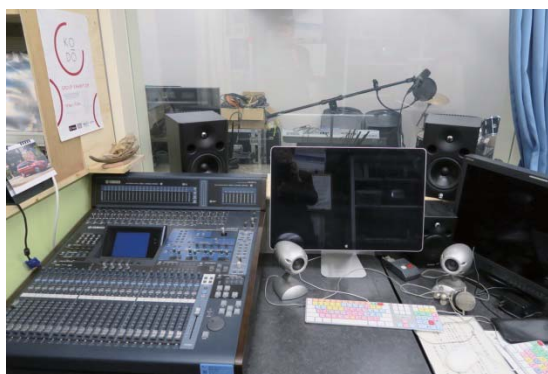
1階にスタジオ2室および2階に360度映写のできる「観光デジタルドームシアター」を有しています。

□ 観光デジタルドームシアター：

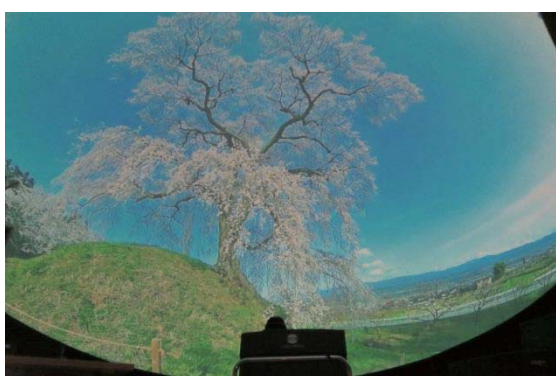
ドーム棟2階には、「観光デジタルドームシアター」があります。このシアターはプラネタリウムをはじめとして、360度に映像を映し出し、臨場感あふれる体験ができます。和歌山大学での各種行事（オープンキャンパス等）の際にはご覧いただけます。



右：観光ドーム・スタジオ棟／左：研究棟



スタジオ



観光デジタルドームシアター

9. 学部について

9-1. 入学志望者数・受験者数・合格者数・入学者数の推移

年度	日程等	定員 [A]	志願者 [B]	受験者 [C]	合格者 [D]	入学者			倍率 [B/A]	
						男	女	計		
2007年度 (平成19)	前期	30	194	185	33	8	19	27	6.5	
	後期	35	353	219	42	8	24	32	10.1	
	推薦	13	132	132	20	2	18	20	10.2	
	社会人	2	1	1	1	0	1	1	0.5	
	合計	80	680	537	96	18	62	80	8.5	
2008年度 (平成20)	前期	50	167	159	57	9	42	51	3.3	
	後期	38	212	98	52	13	26	39	5.6	
	推薦	20	149	149	29	5	24	29	7.5	
	社会人	2	5	5	2	1	0	1	2.5	
	合計	110	533	411	140	28	92	120	4.8	
2009年度 (平成21)	前期	50	116	107	53	15	31	46	2.3	
	後期	38	346	160	44	8	26	34	9.1	
	推薦	20	147	146	35	7	28	35	7.4	
	社会人	2	0	0	0	0	0	0	0.0	
	合計	110	609	413	132	30	85	115	5.5	
2010年度 (平成22)	前期	50	152	148	51	11	36	47	3.0	
	後期	38	308	147	38	5	22	27	8.1	
	推薦	20	176	176	35	0	35	35	8.8	
	社会人	2	2	2	2	1	1	2	1.0	
	合計	110	638	473	126	17	94	111	5.8	
2011年度 (平成23)	前期	50	139	133	55	14	33	47	2.8	
	後期	35	251	119	42	7	26	33	7.2	
	推薦	20	136	134	34	6	28	34	6.8	
	社会人	2	3	3	3	0	1	1	1.5	
	AO	3	8	8	5	0	5	5	2.7	
	合計	110	537	397	139	27	93	120	4.9	
2012年度 (平成24)	前期	50	168	163	58	20	30	50	3.4	
	後期	35	247	117	41	11	21	32	7.1	
	推薦	20	136	136	31	7	24	31	6.8	
	社会人	2	3	3	3	0	1	1	1.5	
	AO	3	10	10	3	2	1	3	3.3	
	合計	110	564	429	136	40	77	117	5.1	
2013年度 (平成25)	前期	50	164	157	60	22	33	55	3.3	
	後期	35	237	109	43	17	21	38	6.8	
	推薦	20	146	146	24	3	21	24	7.3	
	社会人	2	0	0	0	0	0	0	0.0	
	AO	3	14	10	4	0	4	4	4.7	
	(定員外)	私費留学生他	若干名	7	5	5	0	4	4	—
	合計	110	568	427	136	42	83	125	5.2	
2014年度 (平成26)	前期	50	157	152	58	14	39	53	3.1	
	後期	35	223	97	43	11	23	34	6.4	
	推薦	20	171	171	25	6	19	25	8.6	
	社会人	2	4	4	2	0	1	1	2.0	
	AO	3	24	10	4	0	4	4	8.0	
	(定員外)	私費留学生	若干名	1	0	0	0	0	—	
	合計	110	580	434	132	31	86	117	5.3	
2015年度 (平成27)	前期	50	164	159	53	16	33	49	3.3	
	後期	35	271	132	36	7	21	28	7.7	
	推薦	20	164	163	33	4	29	33	8.2	
	社会人	2	2	2	2	0	2	2	1.0	
	AO	3	27	12	4	2	2	4	9.0	
	(定員外)	私費留学生	若干名	1	1	0	0	0	—	
	合計	110	629	469	128	29	87	116	5.7	
2016年度 (平成28)	前期	55	157	153	62	21	33	54	2.9	
	後期	35	171	83	38	11	21	32	4.9	
	推薦	25	171	170	34	6	28	34	6.8	
	社会人	2	5	5	2	2	0	2	2.5	
	AO	3	19	10	4	0	4	4	6.3	
	(定員外)	私費留学生	若干名	5	2	2	0	1	1	—
	合計	120	528	423	142	40	87	127	4.4	

9-2. 都道府県別入学者数の推移

	2007年度 (平成19)	2008年度 (平成20)	2009年度 (平成21)	2010年度 (平成22)	2011年度 (平成23)	2012年度 (平成24)	2013年度 (平成25)	2014年度 (平成26)	2015年度 (平成27)	2016年度 (平成28)	入学者合 計
北海道	0	1	1	0	1	3	0	3	0	3	12
北海道	0	1	1	0	1	3	0	3	0	3	12
東北	4	2	0	0	0	1	4	1	1	0	13
青森県	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
岩手県	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	4
宮城県	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
秋田県	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
山形県	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3
福島県	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
関東	2	4	3	0	5	3	3	0	2	1	23
茨城県	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
栃木県	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	3
群馬県	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
埼玉県	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
千葉県	1	0	2	0	1	1	0	0	0	0	5
東京都	0	1	1	0	0	1	2	0	1	0	6
神奈川県	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3
北陸・甲信越	6	3	6	6	6	6	7	5	5	6	56
新潟県	2	0	0	0	0	0	1	3	0	0	6
富山県	2	0	0	0	0	2	0	0	1	1	6
石川県	1	0	0	0	1	3	2	0	1	2	10
福井県	1	0	3	3	0	1	2	0	1	0	11
山梨県	0	1	1	1	1	0	0	0	1	1	6
長野県	0	2	2	2	4	0	2	2	1	2	17
東海	3	9	11	14	14	12	7	7	5	6	88
岐阜県	0	1	3	1	4	3	1	2	1	0	16
静岡県	2	2	2	3	4	5	2	0	1	1	22
愛知県	1	2	4	5	6	3	2	2	1	3	29
三重県	0	4	2	5	0	1	2	3	2	2	21
近畿	50	79	78	77	75	81	84	82	86	92	784
滋賀県	1	2	0	2	1	1	0	1	1	2	11
京都府	3	3	2	1	4	0	0	1	2	3	19
大阪府	22	37	33	36	41	38	41	40	46	51	385
兵庫県	1	8	16	6	7	7	9	6	8	5	73
奈良県	0	6	2	1	0	8	5	6	5	3	36
和歌山県	23	23	25	31	22	27	29	28	24	28	260
中国	5	9	5	4	7	4	7	6	4	11	62
鳥取県	1	2	1	0	1	1	2	1	1	2	12
島根県	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	4
岡山県	2	4	3	2	2	1	2	0	1	4	21
広島県	2	2	1	1	3	0	2	4	2	3	20
山口県	0	0	0	1	1	1	0	0	0	2	5
四国	2	5	2	4	3	3	3	6	3	3	34
徳島県	1	0	1	1	1	1	1	3	0	0	9
香川県	1	3	0	0	0	0	1	2	2	2	11
愛媛県	0	1	1	2	2	2	0	1	1	0	10
高知県	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	4
九州・沖縄	7	8	9	4	9	4	6	6	10	4	67
福岡県	1	2	1	2	0	0	0	1	0	1	8
佐賀県	0	0	0	0	2	0	0	2	1	0	5
長崎県	1	1	1	0	1	0	1	0	3	1	9
熊本県	0	1	0	0	0	1	2	0	1	0	5
大分県	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	9
宮崎県	1	3	3	1	2	2	0	1	1	1	15
鹿児島県	3	0	2	0	3	0	2	1	2	0	13
沖縄県	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	3
その他	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	3
合計	79	120	115	111	120	117	121	117	116	126	1,142

9-3. 卒業生の進路状況（民間／公務員／進学、業種別）

■ 卒業生の進路状況

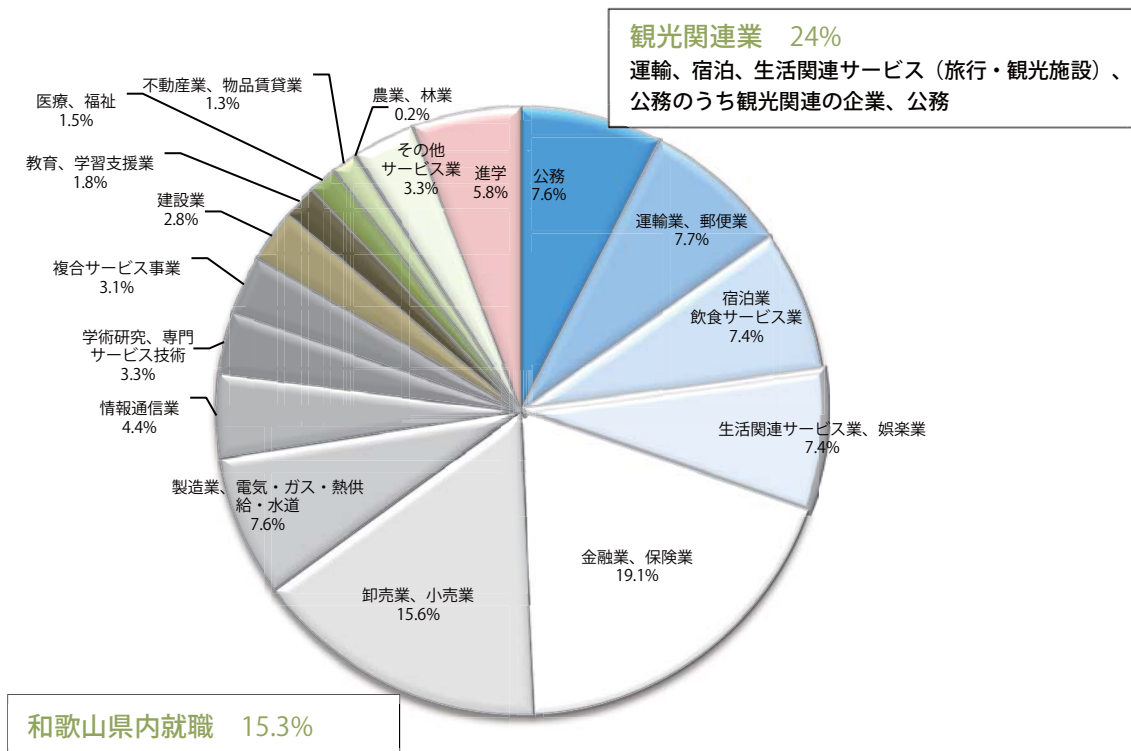
期	卒業生数 (3月卒業)	就職者数				大学院進学者		その他	
		就職希望者数 (割合)	民間企業 就職者数	公務員 就職者数	就職率	進学者数	割合	人数	割合
1期生： 2010年度 (平成22)	71	61 (85.9%)	56	5	100%	8	11.3%	2	2.8%
2期生： 2011年度 (平成23)	107	94 (87.9%)	84	9	98.9%	10	9.3%	3	2.8%
3期生： 2012年度 (平成24)	105	98 (93.3%)	90	6	98.0%	4	3.8%	3	2.9%
4期生： 2013年度 (平成25)	117	113 (96.6%)	103	9	99.1%	2	1.7%	2	1.7%
5期生： 2014年度 (平成26)	116	112 (96.6%)	104 *自営1含む	7	99.1%	4	3.4%	0	0%
6期生： 2015年度 (平成27)	114	100 (87.7%)	89 *自営2含む	11	100%	7	6.2%	7	6.1%

※割合：各期卒業生数に対する割合 ※その他：専門学校進学者を含む

■ 民間企業就職者の状況／業種別内訳

期	総数	運輸業、郵便業	飲食サービス業、宿泊業、飲用サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	金融業、保険業	卸売業、小売業	製造業、電気・ガス・熱供給・水道	情報通信業	専門サービス技術、学術研究	建設業	複合サービス事業	教育、学習支援業	医療、福祉	物品賃貸業、不動産業	農業、林業	その他サービス業
1期生： 2010年度 (平成22)	56	5	4	4	9	20	1	1	4	0	3	2	1	0	0	2
2期生： 2011年度 (平成23)	84	8	9	6	20	15	6	2	1	2	1	0	6	1	0	7
3期生： 2012年度 (平成24)	90	10	10	6	14	23	5	5	1	4	4	3	0	0	0	5
4期生： 2013年度 (平成25)	103	7	10	8	28	15	7	7	4	0	6	3	2	4	1	1
5期生： 2014年度 (平成26)	104 *自営1含む	7	9	9	28	15	8	5	5	3	4	1	0	5	0	5
6期生： 2015年度 (平成27)	89 *自営2含む	11	5	7	16	16	11	3	5	4	0	3	1	2	1	4

※日本標準産業分類に基づく分



※2010（平成22）年度～2015（平成27）年度卒業生実績

※日本標準産業分類に基づく分類

9-4. 主な就職先・進学先一覧

業種	採用会社名
観光関連企業 *運輸、宿泊、生活関連サービス（旅行・観光施設）、公務のうち観光関連の企業、公務	全日本空輸、北京首都航空、西日本旅客鉄道、東海旅客鉄道、東日本旅客鉄道、近畿日本鉄道、南海電気鉄道、しなの鉄道、丹後海陸交通、WILLER GROUP、西日本高速道路、西日本高速道路サービス・ホールディングス、新日本海フェリー、阪急交通社、日本旅行、JTB 関西、エイチ・アイ・エス、クラブツーリズム、南海国際旅行、東武トップツアーズ、旅工房、エス・ティー・ワールド、グローバルユースビューロー、名鉄観光サービス、星野リゾートグループ、リゾートトラスト、藤田観光、ホテルニューアワジグループ、阪急阪神ホテルズ、ホテルオークラ神戸、京都ホテル、ロイヤルホテル、ハートンホテル、リッチモンドホテルズ、和歌山ターミナルビル、大和リゾート、ホテルアゴーラリージェンシー堺、加賀屋、裕進観光、スーパーホテル、ルートインジャパン、岡山プラザホテル、JAL スカイ、ANA 大阪空港、四季（劇団四季）、アイ・ケイ・ケイ、アワーズ、芝政観光開発、木下サーカス、時之栖、京都吉兆、千成亭、三重県文化振興事業団
金融業、保険業	紀陽銀行、三菱東京 UFJ 銀行、三井住友銀行、りそな銀行、関西アーバン銀行、SBJ 銀行、近畿大阪銀行、京都銀行、中国銀行、静岡銀行、清水銀行、阿波銀行、宮崎銀行、あおぞら銀行、大正銀行、第三銀行、十八銀行、八十二銀行、きのくに信用金庫、JA バンク和歌山信連、大阪ンティ信用金庫、近畿産業信用組合、大阪厚生信用金庫、兵庫県信用組合、住友生命保険、日本生命保険、明治安田生命保険、損害保険ジャパン日本興亜、三井住友海上火災保険、野村證券、みずほ証券、岡三証券

卸売業・小売業	オーエ、タカショー、オカザキ紀芳庵、松源、廣岡、和歌山トヨペット、ネットヨタ和歌山、パーティハウス、サウンドラインモノリス、タカラスタンダード、岩谷産業、LIXIL ビバ、モリト、関包スチール、たけでん、帝人フロンティア、全農パールライス西日本、ファブリカコミュニケーションズ、ファーストリテイリング、リンク・セオリー・ジャパン、ニッセン、デザート、ニッキー、トヨタL&F近畿、トラスコ中山、ニッセイコム、椿本興業、東海澱粉、大和農園、明日香美術、阪急阪神百貨店、ジェイアール西日本伊勢丹、JR東日本リテールネット、朝日エアポートサービス、イオンリテール、イズミヤ、平和堂、万代、京阪ザ・ストア、近商ストア、上新電機、柿安本店、大阪いずみ市民生活協同組合、コメリ、ホンダ泉州販売、オートボックスセブン、ジーユー、アルペン、チュチュアンナ、アンテプリマジャパン、三貴
製造業・電気・ガス・熱供給・水道	島精機製作所、溝端紙工印刷、中和印刷紙器、関西電力、三井食品、宝酒造、日世、福助、光世、山一、瀧本、朝日ウッドテック、日本イーライリリー、小野薬品工業、Meiji Seika ファルマ、あすか製薬、新日鐵住金、井関農機、理想科学工業、ニプロ、プラザー販売、プラス、平田タイル、リンナイ、東テク、メニコン、日本無線
その他	秋津野、ヤマイチハウジング、パナホーム和歌山、和歌山リビング新聞社、サンレックス、サイバーリンクス、OPLUS グループ、喜望ゼミナール、医療法人青松会、和歌山県国民健康保険団体連合会、JA 全農長野、JA 大阪泉州、JA いずみの、JA 兵庫六甲、JA ならけん、JA 香川県、JA グループ和歌山、JA 紀北かわかみ、エム・イー・エス由良、オフィスメイト、西岡会計事務所、内藤会計事務所、紀陽情報システム、ディー・エイチ・エル・ジャパン、鴻池運輸、ホンダロジスティクス、パナソニックロジスティクス、鈴与、近鉄エクスプレス、阪急阪神エクスプレス、南海エクスプレス、ヤマト運輸、鹿島建設、加和太建設、大鉄工業、積水ハウスリフォーム、エス・バイ・エル、Sky、JR西日本ITソリューションズ、富士通エフサス、三井造船システム技研、NSD、平成会社、DAC グループ、近畿アド、岡山放送、USEN、近鉄不動産、日本住宅サービス、大阪地下街、日本郵便、大阪市立大学、関西医科大学、創志学園グループ、駿河台学園、ティプロス、大阪警察病院、大阪府立病院機構、ビジネスコンサルタント、ビジネスブレイン太田昭和、インテリジェンス、アイテム、スターバックスコーヒージャパン、テンフードサービス、丸福商店、ダスキン、トランスコスモス

業種	採用公務先名
国家公務員	国土交通省近畿運輸局、防衛省 海上自衛隊、防衛省 航空自衛隊
地方公務員	和歌山県庁、和歌山県警察本部、和歌山市役所、田辺市役所、岩出市役所、新宮市役所、紀美野町役場、有田川町役場、那智勝浦町役場、印南町役場、北海道庁、大阪府庁、大阪府警察本部、堺市役所、岸和田市役所、東大阪市役所、摂津市役所、松原市役所、熊取町役場、田尻町役場、西宮市役所、浜松市役所、可児市役所、諏訪市役所、三原市役所、四万十町役場、香美町役場、東京消防庁、鹿児島市消防局
進学	大学名
大学院	和歌山大学大学院 観光学研究科、和歌山大学大学院 経済学研究科、和歌山大学大学院 教育学研究科、京都大学大学院 アジア・アフリカ地域研究研究科、大阪教育大学大学院 教育学研究科、奈良教育大学大学院、奈良女子大学大学院 人間文化研究科、皇學館大学大学院、佛教大学大学院、桃山学院大学大学院

※2010（平成22）年度～2015（平成27）年度卒業生実績

9-5. 入学試験制度の変遷

■ 入試区分と募集定員の推移

年度	一般入試 前期日程	一般入試 後期日程	推薦入試	社会人 特別入試	AO入試	私費外国人留学生 特別入試	合計	
2007年度 (平成19) ※1	30	35	13	2			80	
2008年度 (平成20) ※2	50	38	20	2			3	若干名
2009年度 (平成21)								
2010年度 (平成22)								
2011年度 (平成23) ※3	50	35	20	2	3	若干名	110	
2012年度 (平成24)								
2013年度 (平成25) ※4								
2014年度 (平成26)								
2015年度 (平成27)	55	35	25	2	3	若干名	120	
2016年度 (平成28) ※5								

※1：経済学部観光学科設置

※2：観光学部設置

※3：AO入試開始

※4：私費外国人留学生特別入試開始

※5：定員増（10名）

■ 各入試区分における試験科目等の変遷

年度	一般入試 (前期日程)	一般入試 (後期日程)	推薦入試	社会人 特別入試	AO入試	私費外国人留学生 特別入試
2007年度 (平成19)	・センター試験 6教科 ・個別学力検査 [国語または 数学、外国語]	・センター試験 3教科または 2教科 ・個別学力検査 [小論文]	面接 および 提出書類 による 選考	小論文 および 面接 による 選考		
2008年度 (平成20)						
2009年度 (平成21)						
2010年度 (平成22)						
2011年度 (平成23)	・センター試験 6教科または 5教科 ・個別学力検査 [国語または 数学、外国語]				1次選考： 書類選考 2次選考： 模擬講義と提出書類に 基づく面接 3次選考： 面接 4次選考： 面接 (場合により地方選考会場を設定)	
2012年度 (平成24)						
2013年度 (平成25)						
2014年度 (平成26)						
2015年度 (平成27)						
2016年度 (平成28)						
					1次選考： 書類選考 2次選考： 模擬講義と提出書類に 基づく面接 3次選考： プレゼンテーション	小論文および 面接による選考

9-6. 地域インターンシップ（LIP） 年度別 テーマ・参加者数一覧

※公募タイプ：和歌山県内及び大阪南部の市町村等、地域の側より学生が地域再生や観光振興の現場を体験できるインターンシッププログラムを公募するもの

申請タイプ：観光学部の専任教員が、地方公共団体等との共同研究等を通じた連携のもとにインターンシッププログラムを申請するもの

2008（平成20）年度

市町村名	内容	主担当教員	参加学生数
かつらぎ町	花園ふるさとセンターの有効活用に関する調査研究	神田 孝治	10
有田川町	観光スポット調査（鉄道フロムナード、あらぎ島・清水温泉周辺）、および各種施設における就業体験	北村 元成	10
日高川町	小学生の農村生活体験実習受入のための基礎調査	大浦 由美	5
田辺市	秋津野ガルデン附設レストラン「みかん畑」利用客の観光行動アンケート調査、及び田辺市広域市町村圏の関係者との意見交換	藤田 武弘	9
上富田町	観光資源調査と地域の農・商・工関係者との意見交換会	竹林 浩志	4
すさみ町	各種体験観光施設の調査と関係者への聞き取り	中串 孝志	5
延べ人数			42
実人数			33

2009（平成21）年度

市町村名	内容	主担当教員	参加学生数
和歌山市	四季の郷公園周辺調査等	出口 竜也	7
紀の川市	青洲の里施設内で実習および農家民泊体験、地域住民との意見交換	竹田 明弘	6
橋本市	青年の家やどりの運営体験およびリニューアルプランの検討	山田 良治	9
有田川町	観光スポット調査（鉄道フロムナード、あらぎ島・清水温泉周辺）、および各種施設における就業体験	北村 元成	5
湯浅町	町内主要施設の視察と集客イベントへの活用法の検討、および有力事業者への観光誘客に関わる聞き取り、イベントにおけるJAZZバンド演奏会の開催	出口 竜也	4
日高川町	子ども農山漁村交流プロジェクト推進のための学生サポーターおよび課題発見	藤田 武弘	4
田辺市	農山村におけるUJIターン者と地元住民との連携	藤田 武弘	8
太地町	移民関連勉強会、および地域住民、町職員との意見交換	東 悦子	3
延べ人数			46
実人数			45

2010（平成22）年度

市町村名	内容	主担当教員	参加学生数
和歌山市	四季の郷公園と周辺農地を利用した農業観光の振興、および中心市街地との連携による活性化調査	出口 竜也	12
紀の川市	「細野溪流キャンプ場」集客向上と地域活性化の検討	竹田 明弘	3
有田川町	観光スポット調査（観光ブドウ園ほか）、および各種施設における就業体験と町内宿泊施設におけるモニター宿泊	北村 元成	3
延べ人数			18
実人数			17

■ 2011（平成23）年度（無印：公募タイプ／＊：申請タイプ）

市町村名	内容	担当教員	参加学生数	
和歌山市	お城を中心としたまちなか回遊性の創出	加藤 久美	6	
紀の川市	細野溪流キャンプ場を起点とした地域活性化	竹田 明弘	6	
有田川町	観光スポット調査、および各種施設（鶏卵牧場ほか）における就業体験と町内宿泊施設におけるモニター宿泊	出口 竜也	6	
*JA いずみの管内	JA 直営型農産物直売所を拠点とした都市農村交流の推進	藤田 武弘	6	
			延べ人数	24
			実人数	23

■ 2012（平成24）年度（無印：公募タイプ／＊：申請タイプ）

市町村名	内容	担当教員	参加学生数	
紀の川市	紀の川市地域活性化	竹田 明弘	11	
かつらぎ町	かつらぎ町日帰りプランの作成	尾久土正己	10	
日高川町	日高川町における祭事を中心とした伝統文化と地域活性化についての調査	大井 達雄	2	
みなべ町	みなべ町の新たな魅力発掘・発信事業（みなべ観光協会事業）	堀田祐三子	5	
太地町	地域資源として移民輩出の歴史を活かした観光の活性化を考える	東 悦子	10	
岬町	「道の駅」建設に伴う検討委員会	永瀬 節治	2	
*かつらぎ町	都市近郊中山間地域における交流型農業への展開可能性を探る	大浦 由美	4	
*田辺市	和歌山県版・農山村ワーキングホリデーのシステム構築	藤田 武弘	6	
*JA いずみの管内	JA 直営型農産物直売所を拠点とした都市農村交流の推進	藤田 武弘	5	
*岩手県奥州市	故郷（ふるさと）への誇りを取り戻すためのグリーン・ツーリズム	藤田 武弘	9	
*有田川町	学生との協働による棚田保全活動体制の構築に関する基礎調査	大浦 由美	16	
			延べ人数	80
			実人数	68

■ 2013（平成25）年度（無印：公募タイプ／＊：申請タイプ）

市町村名	内容	担当教員	参加学生数	
紀の川市	紀の川市地域活性化	竹田 明弘	5	
有田市	みかん産地の農家の今後を考える （有田地域みかん農家経営継続課題調査）	竹林 明	10	
有田市	有田地域における魅力的な居住環境を考える （有田地域の居住地選定要因に関する調査）	佐々木壮太郎	9	
*有田川町	学生との協働による棚田保全活動体制の構築に関する基礎調査	大浦 由美	23	
*岩手県奥州市 および和歌山県	農村ワーキングホリデーを通じた農村再生の可能性を探る	藤田 武弘	26	
			延べ人数	73
			実人数	69

■ 2014（平成26）年度（無印：公募タイプ／＊：申請タイプ）

市町村名	内容	主担当教員	参加学生数
和歌山市	和歌山市民の森づくり事業	大浦 由美	19
紀の川市	紀の川市地域活性化	竹田 明弘	8
有田市	地元小学生が見つけた地域の資源に対する傾向・特性調査とその活用提案	東 悦子	5
紀美野町	地域活性化にむけた調査研究（現地ヒアリング）	堀田祐三子 上野山裕士	5
有田川町	しみず体験・学習プログラムの開発	堀田祐三子 上野山裕士	7
広川町	津木地区寄合会の運営、特産品開発、情報発信、イベントを共に考える	堀田祐三子 上野山裕士	5
由良町	観光地の新たな魅力発見	堀田祐三子 上野山裕士	19
*有田川町	学生との協働による継続的な棚田保全活動体制の構築	大浦 由美	18
*岩手県胆江地方および和歌山県	農村ワーキングホリデーを活用した都市農村交流の「鏡効果」と農村再生手法としての可能性の検証	藤田 武弘	39
*北海道幕別町	地域の観光に係る調査研究（観光と地域のあり方についての調査研究及び観光資源の掘り起こし等）	出口 竜也	12
延べ人数			137
実人数			121

■ 2015（平成27）年度（無印：公募タイプ／＊：申請タイプ）

市町村名	内容	主担当教員	参加学生数
岩出市	観光地の活性化と情報発信	伊藤 央二	10
紀の川市	紀の川市地域活性化	竹田 明弘	9
紀美野町	地区×学生による継続可能な地域活性化にむけた寄り添い型支援体制の構築と観光・交流情報発信	大浦 由美 上野山裕士	26
紀美野町	世代間交流を推進する地域拠点の企画・運営（認知症カフェでの実践を通じて）	大浦 由美 上野山裕士	6
広川町	津木地区寄合会の運営、特産品開発、情報発信、イベントを共に考える	大浦 由美 上野山裕士	10
岬町	マップを手にウォーキングをしたくなる気持ちを沸き立たせる「まち歩きマップ」の作成	佐野 楓	8
熊取町	第4回熊取ふれあい農業祭	木川 剛志	2
田尻町	君が見つけたたじりの魅力ー出会いと交流で創る健幸のまちー	木川 剛志	7
(公財)わかやま産業振興財団	特産果樹がもたらす共創価値の創造（新たな健康・産業づくり）	竹林 明	11
*和歌山市	和歌山公園動物園（通称：お城の動物園）の環境エンリッチメントを通じた観光活用	加藤 久美	10
*有田川町	学生との協働による継続的な棚田保全活動体制の構築	大浦 由美	16
*富山県南砺市	五箇山における持続可能な観光の実現に向けた実証調査	永瀬 節治	5
*長野県飯田市	道の駅遠山郷を核とした地域活性化	大浦 由美	20
*岩手県胆江地方および和歌山県	農村ワーキングホリデーを活用した都市農村交流の「鏡効果」と農村再生手法としての可能性の検証	藤田 武弘	43
*北海道幕別町	地域の観光に係る調査研究（観光と地域のあり方についての調査研究及び観光資源の掘り起こし等）	出口 竜也	8
延べ人数			191
実人数			169

2016（平成28）年度（無印：公募タイプ／＊：申請タイプ）

市町村名	内容	主担当教員	参加学生数
和歌山市	観光資源を活用した観光振興の体験と調査・研究（和歌山城におけるおもてなし忍者による観光振興を通じて）	廣岡 裕一	5
和歌山市	地域資源を活用した、見どころマップの作成とまちあるきの実施	北村 元成	5
和歌山市	名勝「和歌の浦」の魅力発信	小野 健吉	5
紀の川市	紀の川市地域活性化	竹田 明弘	14
紀美野町	地区×学生による継続可能な地域活性化にむけた寄り添い型支援体制の構築と観光・交流情報発信	大浦 由美 上野山裕士	28
紀美野町	世代間交流を推進する地域拠点の企画・運営（認知症カフェでの実践を通じて）	大浦 由美 上野山裕士	8
有田市	魅力ある図書館づくり -新図書館開館に向けて-	吉田 道代	5
有田市	空き家活用による地域活性化プロジェクト	木川 剛志	10
広川町	津木地区寄合会の運営、特産品開発、情報発信、イベントを共に考える	大浦 由美 上野山裕士	10
日高町	地域資源の自慢を後世に引き継ぐと共に経済効果のある参加型イベントの企画立案を共に考える	竹林 明	5
那智勝浦町	地域の文化や風習、そこで暮らす人々と直にふれあいながら、これからの地域・自分・社会のあり方・つながり方を考える	八島 雄士 岸上 光克	5
阪南市	産業観光ワークショップ HANNAN OSAKA cotton project	佐野 楓	15
熊取町	第5回熊取ふれあい農業祭	伊藤 央二	2
(公財)わかやま産業振興財団	特産果樹がもたらす共創価値の創造 (新たな健康・産業づくり)	大井 達雄	10
*和歌山市	和歌山公園動物園（通称：お城の動物園）の環境エンリッチメントを通じた観光活用	加藤 久美	11
*和歌山市	和歌山市立伏虎中学校の閉校記念誌づくり	永瀬 節治	5
*有田川町	学生との協働による継続的な棚田保全活動体制の構築	大浦 由美	20
*岬町	「岬フィールドミュージアム構想」	大浦 由美	7
*長野県飯田市	道の駅遠山郷を核とした地域活性化	大浦 由美	5
*岩手県胆江地方および和歌山県	農村ワーキングホリデーを活用した都市農村交流の「鏡効果」と農村再生手法としての可能性の検証	藤田 武弘	43
*宮崎県	みやざき観光コンベンション協会からの依頼に基づいた「波族宮崎」キャンペーンのより効果的な展開に対する提案・提言作成	加藤 久美	8
延べ人数			227
実人数			196

**合計
・年度別**

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	
延べ人数	839	42	46	18	24	80	73	137	191	227
実人数	742	33	45	17	23	68	69	121	169	196

・期生・年度別

	1期生	2期生	3期生	4期生	5期生	6期生	7期生	8期生	9期生	10期生
2008	26	16								
2009	23	18	5							
2010	2	7	4	5						
2011		0	10	14	0					
2012			12	32	11	25				
2013				3	18	22	30			
2014				1	11	46	39	40		
2015						17	26	75	73	
2016							6	44	74	103
合計	51	41	31	55	40	110	101	160	147	103

・学年別（1回生～4回生）

		1回生	2回生	3回生	4回生
延べ人数	839	298	283	206	52
実人数	742	275	250	171	46

※合計の「実人数」には年度をまたいで参加した同一学生も含む。

・プログラム数

2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	合計
6	8	3	4	11	5	10	15	21	89

9-7. Global Intensive Project (GIP) 年度別 テーマ・参加者数一覧

■ 2008（平成20）年度

研修先	実施日	テーマ	主担当教員	参加学生数
ハワイ大学（アメリカ）	2009年2月16日 ～3月15日	ハワイ研修プログラム	戸塚 敦子	5
			延べ人数	5
			実人数	5

■ 2010（平成22）年度

研修先	実施日	テーマ	主担当教員	参加学生数
クイーンズランド大学 （オーストラリア）	2010年9月4日 ～9月19日	環境責任ある観光	加藤 久美	7
オックスフォード大学 ハートフォードカレッジ（イギリス）	2010年9月4日 ～9月26日	英語学習とイギリス文化	堀田祐三子	29
サンティアゴ・デ・コンポステラ大学 （スペイン）	2011年2月11日 ～3月8日	春季プログラム（スペイン語とス ペイン文化）	戸塚 敦子	10
建国科技大学（台湾）	2011年2月27日 ～3月13日	台湾短期留学（観光コース）	竹鼻 圭子	7
			延べ人数	53
			実人数	51

■ 2011（平成 23）年度

研修先	実施日	テーマ	主担当教員	参加学生数	
クイーンズランド大学 （オーストラリア）	2011年9月10日 ～9月24日	環境責任ある観光	加藤 久美	6	
オックスフォード大学 ハートフォードカレッジ（イギリス）	2011年9月4日 ～9月25日	英語学習とイギリス文化	堀田祐三子	14	
				延べ人数	20
				実人数	20

■ 2012（平成 24）年度

研修先	実施日	テーマ	主担当教員	参加学生数	
クイーンズランド大学 （オーストラリア）	2012年9月1日 ～9月15日	環境責任ある観光	加藤 久美	10	
オックスフォード大学 ハートフォードカレッジ（イギリス）	2012年9月1日 ～9月23日	英語学習とイギリス文化	堀田祐三子	9	
				延べ人数	19
				実人数	19

■ 2013（平成 25）年度

研修先	実施日	テーマ	主担当教員	参加学生数	
クイーンズランド大学 （オーストラリア）	2013年8月31日 ～9月14日	環境責任ある観光	加藤 久美	9	
オックスフォード大学 ハートフォードカレッジ（イギリス）	2013年8月31日 ～9月21日	英語学習とイギリス文化	堀田祐三子	14	
				延べ人数	23
				実人数	23

■ 2014（平成 26）年度

研修先	実施日	テーマ	主担当教員	参加学生数	
クイーンズランド大学 （オーストラリア）	2014年8月30日 ～9月14日	環境責任ある観光	加藤 久美	10	
オックスフォード大学 ハートフォードカレッジ（イギリス）	2014年8月30日 ～9月20日	英語学習とイギリス文化	堀田祐三子	12	
				延べ人数	22
				実人数	22

■ 2015（平成 27）年度

研修先	実施日	テーマ	主担当教員	参加学生数	
クイーンズランド大学 （オーストラリア）	2015年8月29日 ～9月13日	環境責任ある観光	加藤 久美	7	
				延べ人数	7
				実人数	7

■ 2016（平成 28）年度

研修先	実施日	テーマ	主担当教員	参加学生数	
クイーンズランド大学 （オーストラリア）	2016年8月27日 ～9月10日	環境責任ある観光	加藤 久美	8	
オックスフォード大学 ハートフォードカレッジ（イギリス）	2016年8月9日 ～8月28日	英語学習とイギリス文化	堀田祐三子	1	
アルバータ大学（カナダ）	2016年8月30日 ～9月28日	英語学習とカナダ文化	伊藤 央二	10	
				延べ人数	19
				実人数	19

■ 合計
・ 年度別

		2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
延べ人数	168	5	—	53	20	19	23	22	7	19
実人数	166	5	—	51	20	19	23	22	7	19

・ 期生・年度別

	1期生	2期生	3期生	4期生	5期生	6期生	7期生	8期生	9期生	10期生
2008	4	1								
2009	—	—	—							
2010	0	11	34	6						
2011		0	1	17	2					
2012			0	0	12	7				
2013				0	0	8	15			
2014					0	0	9	13		
2015						0	0	2	5	
2016							0	3	10	6
合計	4	12	35	23	14	15	24	18	15	6

・ 学年別（1回生～4回生）

		1回生	2回生	3回生	4回生
延べ人数	168	55	98	15	0
実人数	166	55	96	15	0

※合計の「実人数」には年度をまたいで参加した同一学生も含む。

・ プログラム数

2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	合計
1	—	4	2	2	2	2	1	3	17

10. 大学院について

10-1. 入学志望者数・受験者数・合格者数・入学者数の推移

a. 博士前期課程（修士）

年度	募集・選抜区分		定員 [A]	志願者 [B]	受験者 [C]	合格者 [D]	入学者			倍率 [B/A]
							男	女	計	
2011年度 (平成23)	一般		5	9	9	7	3	3	6	1.8
	社会人		若干名	1	1	1	0	1	1	—
	合計		5	10	10	8	3	4	7	2.0
2012年度 (平成24)	一般		5	9	8	8	3	4	7	1.8
	社会人		若干名	1	1	1	1	0	1	—
	合計		5	10	9	9	4	4	8	2.0
2013年度 (平成25)	第1回 募集	一般	3	8	7	4	2	2	4	2.7
		社会人	若干名	1	1	1	1	0	1	—
		外国人留学生	若干名	6	6	2	1	1	2	—
		計	3	15	14	7	4	3	7	5.0
	第2回 募集	一般	2	1	1	0	0	0	0	0.5
		社会人	若干名	0	0	0	0	0	0	—
		外国人留学生	若干名	8	7	4	0	4	4	—
		計	2	9	8	4	0	4	4	4.5
	合計		5	24	22	11	4	7	11	4.8
	2014年度 (平成26)	第1回 募集	一般	4	3	3	2	1	1	2
社会人			若干名	2	2	1	0	1	1	—
外国人留学生			若干名	12	12	4	1	2	3	—
計			4	17	17	7	2	4	6	4.3
第2回 募集		一般	5	4	4	0	0	0	0	0.8
		社会人	若干名	3	3	2	0	2	2	—
		外国人留学生	若干名	10	10	2	1	0	1	—
		計	5	17	17	4	1	2	3	3.4
合計			9	34	34	11	3	6	9	3.8
2015年度 (平成27)		第1回 募集	一般	5	10	9	6	2	4	6
	社会人		若干名	2	2	1	1	0	1	—
	外国人留学生		若干名	9	7	1	0	1	1	—
	計		5	21	18	8	3	5	8	4.2
	第2回 募集	一般	4	2	2	2	0	0	0	0.5
		社会人	若干名	2	2	1	0	1	1	—
		外国人留学生	若干名	8	7	1	1	0	1	—
		計	4	12	11	4	1	1	2	3.0
	合計		9	33	29	12	4	6	10	3.7
	2016年度※ (平成28)	第1回 募集	一般	5	6	6	4	2	2	4
社会人			若干名	3	3	1	0	1	1	—
外国人留学生			若干名	8	8	2	0	2	2	—
計			5	17	17	7	2	5	7	3.4
第2回 募集		一般	4	2	1	1	0	0	0	0.5
		社会人	若干名	2	2	2	1	1	2	—
		外国人留学生	若干名	11	10	3	3	0	3	—
		計	4	15	13	6	4	1	5	3.8
合計			9	32	30	13	6	6	12	3.6

※国費1名（女性：ハンガリー）入学；合計数には含んでいない。

b. 博士後期課程

年度	募集・選抜区分		定員 [A]	志願者 [B]	受験者 [C]	合格者 [D]	入学者			倍率
							男	女	計	
2014年度 (平成26)	一般		6	7	7	3	2	1	3	1.2
	社会人			8	8	5	4	1	5	1.3
	外国人留学生			5	5	1	0	1	1	0.8
	計			6	20	20	9	6	3	9
2015年度 (平成27)	一般		6	2	2	2	2	0	2	0.3
	社会人			4	4	4	3	1	4	0.7
	外国人留学生			1	1	0	0	0	0	0.2
	計			6	7	7	6	5	1	6
2016年度※ (平成28)	一般		6	3	3	3	1	2	3	0.5
	社会人			6	5	3	0	3	3	1.0
	外国人留学生			4	4	3	2	1	3	0.7
	計			6	13	12	9	3	6	9

※国費1名（男性：アルゼンチン）入学

10-3. 修了生の進路状況（民間／公務員／進学、業種別）

■ 修了生の進路状況 博士前期課程（修士）

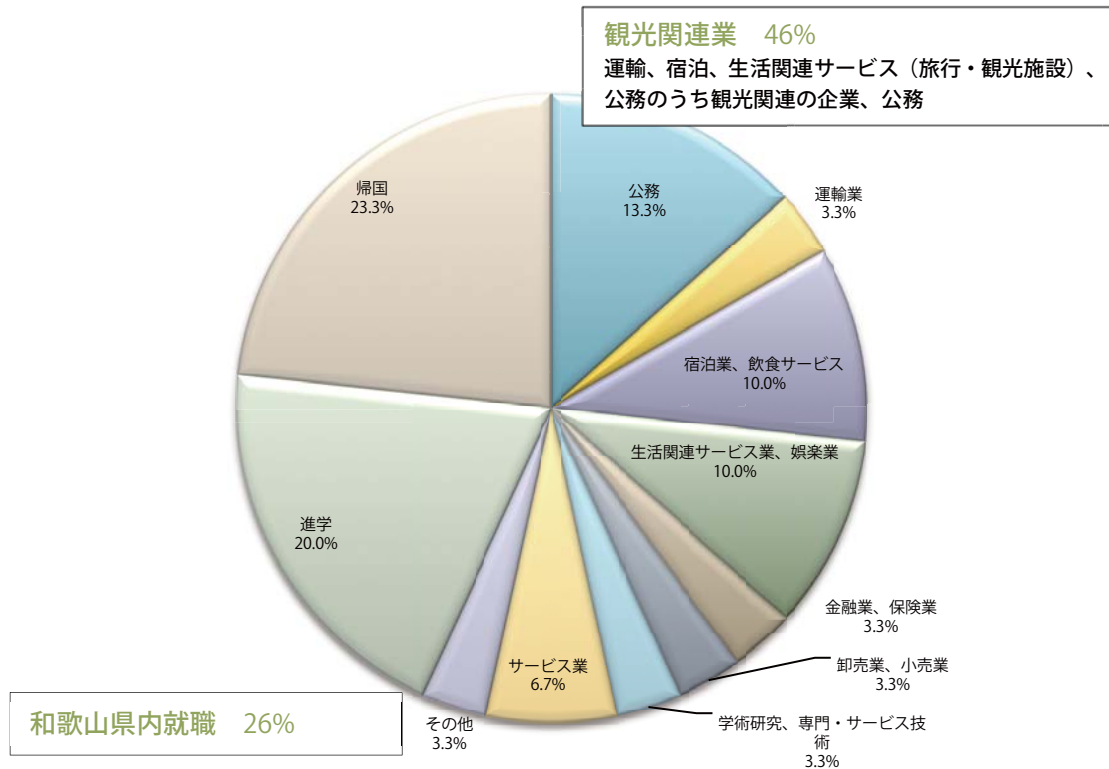
期	卒業生数 (3月卒業)	就職者数				大学院進学者		その他	
		就職希望者数 (割合)	民間企業 就職者数	公務員 就職者数	就職率	進学者数	割合	人数	割合
1期生： 2012年度 (平成24)	5	5 (100%)	5	0	100%	0	0%	0	0%
2期生： 2013年度 (平成25)	6	2 (33.3%)	2	0	100%	1	16.7%	3	50%
3期生： 2014年度 (平成26)	11	5 (45.5%)	2	3	100%	1	9%	5	45.5%
4期生： 2015年度 (平成27)	9	5 (55.6%)	4	1	100%	3	33.3%	1	11.1%

※割合：各期修了生数に対する割合 ※その他：帰国（留学生）、大学院研究生としての在籍を含む

■ 民間企業就職者の状況／業種別内訳 博士前期課程（修士）

期	総数	運輸業、郵便業	宿泊業、 飲食サービス業	生活関連サービス業、 娯楽業	金融業、保険業	卸売業、小売業	製造業、電気・ガス・ 熱供給・水道	情報通信業	専門サービス技術 学術研究	建設業	複合サービス事業	教育、学習支援業	医療、福祉	不動産業、 物品賃貸業	農業、林業	その他サービス業
1期生： 2012年度 (平成24)	5	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
2期生： 2013年度 (平成25)	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
3期生： 2014年度 (平成26)	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4期生： 2015年度 (平成27)	4	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※日本標準産業分類に基づく分



10-4. 主な就職先・進学先一覧 博士前期課程（修士）

業種	採用会社名
観光関連企業 *運輸、宿泊、生活関連サービス（旅行・観光施設）、公務のうち観光関連の企業、公務	星野リゾートグループ、うかい、JR北海道ホテルズ、WILLER TRAVEL、JC プラン、貴州海外旅行会社、地域マーケティング研究所、京阪アーバンシステムズ、エムケイ西日本グループ、和歌山社会経済研究所
金融業、保険業	アメリカンエキスプレス・インターナショナル
卸売業・小売業	エクセルヒューマン
その他	Art Liquor Japan

業種	採用公務先名
地方公務員	和歌山県庁、岐阜県庁、鳥取県庁、大阪市交通局

進学	大学名
大学院	和歌山大学大学院 観光学研究科 博士後期課程

※2012（平成24）年度～2015（平成27）年度修了生実績

10-5. 入学試験制度の変遷

■ 博士前期課程（修士）：入試区分と募集定員の推移

年度	一般入試	社会人特別入試	外国人留学生特別入試	合計
2011（平成23）年度 ※1	5			5
2012（平成24）年度				
2013（平成25）年度	5			
2014（平成26）年度 ※2	9			9
2015（平成27）年度				
2016（平成28）年度				

※1：観光学研究科修士課程設置

※2：観光学研究科博士課程設置に伴い、「修士課程」から「博士前期課程」に名称変更、定員4名増

■ 博士後期課程：入試区分と募集定員の推移

年度	一般入試	社会人特別入試	外国人留学生特別入試	合計
2014（平成26）年度 ※3	6			6
2015（平成27）年度				
2016（平成28）年度				

※3：観光学研究科博士課程設置

■ 博士前期課程（修士）：各入試区分における試験科目等の変遷

年度	一般入試	社会人特別入試	外国人留学生特別入試
2011（平成23）年度	小論文、英語、面接		
2012（平成24）年度			
2013（平成25）年度	小論文、面接	小論文、面接	小論文、面接
2014（平成26）年度			
2015（平成27）年度			
2016（平成28）年度			

■ 博士後期課程：各入試区分における試験科目等の変遷

年度	一般入試	社会人特別入試	外国人留学生特別入試
2014（平成26）年度 ※3	口述試験および 提出書類による選考	口述試験および 提出書類による選考	口述試験および 提出書類による選考
2015（平成27）年度			
2016（平成28）年度			

※3：観光学研究科博士課程設置

11. 研究資金の獲得実績



■ 科学研究費の獲得状況（研究代表者のみ）（単位：千円）

研究者氏名	研究者職名	研究種目	研究分野	平成 21 年度 (2009)	平成 22 年度 (2010)	平成 23 年度 (2011)	平成 24 年度 (2012)	平成 25 年度 (2013)	平成 26 年度 (2014)	平成 27 年度 (2015)	平成 28 年度 (2016)	平成 29 年度 (2017)	平成 30 年度 (2018)	平成 31 年度 (2019)	研究課題（赤字は観光学関連キーワード）
伊藤 央二	講師	研究活動スタート支援	スポーツ科学						—	1,300					身体活動の阻害要因とその折衝方法が心理的健康に及ぼす影響に関する日加文化比較研究
		若手研究 (B)	スポーツ科学 / 観光学									1,300	1,300	1,300	
大井 達雄	教授	基盤研究 (C)	観光学					1,170	1,040	1,040					観光事業における需要予測モデルの開発とリスクマネジメントへの応用に関する研究
		基盤研究 (C)	観光学								910	650	650	780	空間統計学による観光市場の地域特性の把握と地理情報の高度化に関する研究
大浦 由美	教授	基盤研究 (C)	観光学			910	1,040	910							国有林の森林レクリエーション事業を中心とする多様なパートナーシップの形成
		基盤研究 (C)	観光学							780	650	650			国有林野の「協働型管理」におけるツーリズム活用・創出の意義と課題
尾久土正己	教授	基盤研究 (C)	博物館学	1,950	2,470	390									超高精細動画を使った皆既日食の全周デジタルミュージアム
		基盤研究 (C)	文化財科学・博物館学					1,690	1,950	1,170					プラネタリウムを使った高野山の全方位デジタルミュージアム
		基盤研究 (C)	文化財科学・博物館学								2,210	1,040	1,430		フレームレス超解像度映像による東京オリンピックの博物館資料化
小野 健吉	教授	基盤研究 (B)	観光学						—	—	3,770				歴史と現状からみた庭園の観光資源としての可能性に関する研究—欧州との比較から
加藤 久美	教授	基盤研究 (B)	環境影響評価・環境政策		2,600	910	1,690								海洋資源利用における環境理念の普遍性、文化多様性とサステナビリティ
		挑戦的萌芽研究	観光学								1,300	650	1,170		
神田 孝治	教授	若手研究 (B)	人文地理学	650											日本における国立公園の風景地選定とナショナルイズム・観光・自然保護の関係性
		若手研究 (B)	人文地理学			780	780	780							海域景観の自然公園指定に関する文化地理学的研究
		挑戦的萌芽研究	人文地理学						650	650	650				
木川 剛志	准教授	若手研究 (B)	都市計画・建築計画 / デザイン学							1,300	1,560	1,170			「都市カーネル」を指標とした「多極ネットワーク型コンパクトシティ」の実践的研究
佐々木 壮太郎	教授	基盤研究 (C)	商学	650	260										市場の進化における動態的購買意思決定モデルの実証研究
		挑戦的萌芽研究	商学			650	520	650							
佐野 楓	准教授	若手研究 (B)	商学							1,820	1,950				サービス業界におけるソーシャル顧客関係管理の理論と実践に関する研究
竹田 明弘	准教授	基盤研究 (C)	経営学	1,300	780										病院組織において組織管理システムが患者満足、及び業績に与える影響の研究
		基盤研究 (C)	経営学			1,430	1,040	910	650	650					

出口 竜也	教授	基礎研究 (C)	経営学	910	780											フードビジネスのグローバル化に関する理論的・実証的研究
		挑戦的萌芽 研究	経営学				780	650								食を基軸とした観光振興と観光地ガバナンスに関する経営学的・人類学的研究
中串 孝志	准教授	若手研究 (スタート アップ)	気象・海洋物 理・陸水学	1,560												フロアマ連携観測による火星氷晶雲の諸相の解明・惑星エアロゾルの統一的理解に向けて
永瀬 節治	准教授	若手研究 (B)	都市計画・建築 計画			—	650	650								昭和前期における「遊覧都市」の空間計画に関する研究
		若手研究 (B)	観光学						1,170	910	910					人口希薄地域における生活・生業系文化遺産を対象とした観光マネジメントに関する研究
藤田 武弘	教授	基礎研究 (C)	観光学			2,080	1,820	1,430								都市と農山村の協働推進に資するCSR活動の意義とその発展方策に関する研究
		基礎研究 (C)	観光学							1,560	1,690	1,040				新たな人口移動を契機とする農山村地域の経済およびコミュニティの変容に関する研究
堀田 祐三子	教授	基礎研究 (C)	都市計画・建築 計画		1,300	780	650									住宅供給システムが住宅の社会的耐用年数の長期化に及ぼす影響
		基礎研究 (C)	観光学						780	1,430	1,040	650				観光の発展に伴う都市空間形成の変化と生活者による空間への関与に関する研究
八島 雄士	教授	基礎研究 (C)	会計学						—	1,430	1,430					CSR活動への継続的投資を促進する管理会計システムの導入研究：銀行業を中心に
山田 良治	教授	基礎研究 (C)	応用経済学	1,950	650											建築・景観規制が土地・住宅の資産性維持に及ぼす影響
		基礎研究 (C)	観光学					780	650	520						高等教育機関における観光教育のあり方に関する国際比較研究
吉田 道代	教授	基礎研究 (C)	人文地理学			—	—	650	780							都市におけるソーシャルマイノリティの文化・社会・政治的・経済的・観光資源化
		挑戦的萌芽 研究	人文地理学							910	1,170	1,300				同性愛者の居住地選択と都市の変容—自治体による同性婚認定の影響を読み解く
海津 一朗	教授	基礎研究 (C)	日本史		1,820	1,560	910									神護寺領紀伊国かせだ荘の1185年荘園景観の復元研究
	兼務	基礎研究 (C)	日本史					1,430	1,040	2,080						西岡虎之助蒐集中世絵画史料コレクションの復元と模写技法の基礎的研究
		基礎研究 (C)	観光学							1,040	1,300	780				中世の紀伊半島における歴史遺産・名所の創作および保存・活用事業データベースの作成
辻本 勝久	教授 兼務	若手研究 (B)	応用経済学		1,170	1,040									シームレスアジア時代の地方空港・港湾におけるロジスティクス機能整備のあり方	
		観光学区分採 択課題数(新・ 継)				2	2	3	3	6	10	8+α	6+α	1+α		

間接経費を含む。

金額欄の「—」は和歌山大学採用前のもの。

共同研究

年度	教員氏名	研究題目	契約金額 (円)	企業等名
2010年度 (平成22)	北村 元成	テレビ番組ロゴのデザイン	50,000	NHK 和歌山放送局
	尾久土 正己/吉住 千亜紀	遠山郷地区のデジタルドーム映像化に関する研究	15,000,000	飯田市
	北村 元成	デザイン建具の販売戦略構築研究	220,000	有限会社向井建具
2011年度 (平成23)	出口 竜也/米山 龍介/ 鈴木 裕範	湯浅町における賑わい創出とブランド価値向上のための継続性のある戦略的事業のあり方に関する共同研究	400,000	ゆあさ元気プロジェクト会議
	尾久土 正己/吉住 千亜紀	4Kドーム映像の撮影と投影についての研究	0	株式会社フジテレビジョン 美術制作局
	尾久土 正己/吉住 千亜紀	遠山郷の文化資源のデジタルドーム映像化に関する研究	5,000,000	飯田市

2012年度 (平成24)	尾久土 正己/吉住 千亜紀	4Kドーム映像撮影についての研究	0	株式会社 NHK エンタープライズ 事業本部
	尾久土 正己	ケアンズ皆既日食ツアーにおける観光意識調査と日食映像の撮影	0	株式会社阪急交通社 大阪団体支店
	尾久土 正己/吉住 千亜紀	飯田市遠山地域の文化資源デジタルドーム映像化に関する研究	1,800,000	飯田市
2013年度 (平成25)	尾久土 正己	ドーム映像品質の最適化方法の探求	1,100,000	コニカミノルタプラネタリウム株式会社
	尾久土 正己/吉住 千亜紀	デジタルドームシアターを使った超臨場感映像の開発及び上映	1,210,000	株式会社岡三証券グループ
	大井 達雄	宿泊旅行統計調査の個票データによる実態把握に関する研究	0	公益社団法人 国際観光施設協会/全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会
	尾久土 正己/吉住 千亜紀	飯田市内観光地のプラネタリウムコンテンツ制作及び広報活用に関する研究2	1,800,000	飯田市
2014年度 (平成26)	堀田 祐三子/青木 義英	地域の魅力あるコンテンツの発掘	500,000	NTT タウンページ株式会社
	北村 元成	和歌山県におけるお土産物の新商品開発に関する研究	55,000	株式会社オカザキ紀芳庵
	尾久土 正己	日食ツアーなどのネイチャーツアーの企画運用の研究	0	株式会社阪急交通社 大阪団体支店
	廣岡 裕一	里山・石神地区における体験型旅行コンテンツの研究開発	200,000	株式会社濱田
	大井 達雄/青木 義英	六本木アートナイトが及ぼす経済波及効果の計測に関する研究	550,000	森ビル株式会社 森美術館
	北村 元成	シティブランド創出に向けた地域資源の再生とブランドデザインに関する研究	99,000	泉南市
	尾久土 正己/吉住 千亜紀	飯田市の文化資源を活用したプラネタリウム自主番組制作等に関する共同研究	1,944,000	飯田市美術博物館
2015年度 (平成27)	藤田 武弘/大浦 由美/ 大井 達雄/大西 敏夫/ 足立 基浩/原 祐二	市民農園の新たな展開方式による都市農業再生方策に関する研究	4,000,000	わかやま農業協同組合
	廣岡 裕一	里山・石神地区における体験型旅行コンテンツの研究開発	300,000	株式会社濱田
	大浦 由美/藤田 武弘/ 尾久土 正己/佐々木社太郎/ 伊藤 央二/上野山 裕士	道の駅遠山郷総合市場調査及び道の駅遠山郷を核とした地域活性化に関する研究	2,400,000	飯田市(観光課)
	尾久土 正己/吉住 千亜紀	飯田市の文化資源を活用したプラネタリウム自主番組制作等に関する共同研究2	1,782,000	飯田市美術博物館
2016年度 (平成28)	大浦 由美/藤田 武弘/ 尾久土 正己/佐々木社太郎/ 伊藤 央二/上野山 裕士	遠山郷観光戦略計画並びに道の駅遠山郷整備計画の策定及び道の駅遠山郷を核とした地域活性化に関する研究	1,512,000	飯田市(観光課)

■ 受託研究および受託事業

年度	研究代表者	研究題目	契約金額 (円)	委託企業等名
2011年度 (平成23)	尾久土 正己	教育用映像の製作についての研究	600,000	橋本市
2012年度 (平成24)	山田 良治/堀田 祐三子/ 加藤 久美/北村 元成/ 永瀬 節治	和歌山市観光資源発掘・調査業務	2,800,000	和歌山市(和歌山市観光資源発掘・調査業務)
2013年度 (平成25)	中串 孝志/此松 昌彦/ 久富 邦彦/加藤 久美/ 江種 伸之	紀南地域のジオコンテンツと文化・精神性との関連性の探求とフィールドガイド養成のための教材開発	1,350,000	高等教育機関コンソーシアム和歌山
	加藤 久美/Simon Wearne	環境精神文化復興による持続可能な社会の構築：福島県相馬郡飯館村の自然信仰	6,500,000	三井物産株式会社
2014年度 (平成26)	北村 元成	蘭島及び三田・清水の農山村景観サイン計画策定検討	300,000	有田川町
2015年度 (平成27)	藤田 武弘	市民農園の新たな展開方式による都市農業再生方策に関する研究	2,000,000	わかやま農業協同組合
	尾久土 正己	超多画素・高解像度・魚眼カメラ映像の全天球のドーム映像応用研究	3,500,000	キャノン株式会社
	藤田 武弘/植田 淳子/ 辻 和良	平成27年度和歌山県への移住に関するアンケート調査	500,000	和歌山県
	北村 元成	蘭島及び三田・清水の農山村景観サイン計画策定検討	300,000	有田川町
2016年度 (平成28)	大浦 由美	和歌山県「企業の森」経済波及効果に関する調査	937,029	和歌山県
	伊藤 央二	スポーツツーリズム推進に係る調査業務	324,000	国立大学法人神戸大学

■ 寄附金

年度	寄附者	寄附金名称	寄附受入者	寄附目的	寄附金額 (円)
2010年度 (平成22)	公益財団法人江頭ホスピタリティ事業振興財団	観光学部寄附金	藤田 武弘	藤田 武弘教授に対する教育・研究助成	500,000
2013年度 (平成25)	公益財団法人江頭ホスピタリティ事業振興財団	観光学部寄附金	藤田 武弘	藤田 武弘教授に対する教育・研究助成のため	950,000
2014年度 (平成26)	堂島美業株式会社	観光学部寄附金	尾久土 正己	尾久土正己教授に対する教育・研究助成のため	300,000

2015年度 (平成27)	公益財団法人江頭ホスピタリティ事業振興財団	観光学部寄附金	藤田 武弘	藤田武弘教授に対する教育・研究助成	750,000
	笹川スポーツ財団	観光学部寄附金	伊藤 央二	伊藤央二講師の研究助成のため	500,000
2016年度 (平成28)	笹川スポーツ財団	観光学部寄附金	伊藤 央二	伊藤央二講師の研究助成のため	1,000,000
	公益財団法人江頭ホスピタリティ事業振興財団	観光学部寄附金	藤田 武弘	藤田武弘教授に対する教育・研究助成	650,000
	公益財団法人メルコ学術振興財団	観光学部寄附金	八島 雄士	和歌山大学 観光学部 八島雄士教授の教育・研究助成のため	1,070,000

12. 講演会・セミナー・公開講座等 開催実績（観光学部主催・共催）



■ 継続開催

□ 観光カリスマ講座

主催：和歌山大学、和歌山県（2013年度より）

後援：社団法人和歌山県観光連盟、和島興産株式会社

年度	各回のテーマ、および講師	会場
2008 (平成 20) 年度	■第1回：2008年6月19日（木）18：00～19：30 「今、時代はホスピタリティ産業へ」 トーマスアンドチカライン（株）代表取締役 玉川大学 客員教授 溝畑 宏氏	フォルテワジマ4階
	■第2回：2008年7月17日（木）18：00～19：30 「観光立国の推進と人材の育成・活用」 ・国土交通省 総合政策局観光資源課長 水嶋 智氏 ・和歌山大学長 小田 章	
	■第3回：2008年9月18日（木）18：00～19：30 「観光地域づくりの考察—ケーススタディからの考察—」 (株)リクルート 国内旅行カンパニー ジャらんリサーチセンター客員研究員 玉沖 仁美氏	
	■第4回：2008年10月16日（木）18：00～19：30 「ツーリズムを基軸とした地域再生」 観光カリスマ/地域再生診療所所長/元飯田市企画部企画幹 井上 弘司氏	
	■第5回：2008年11月13日（木）18：00～19：30 「由布院盆地の<願い>を決めるもの」 旅館「亀の井別荘」総支配人/地域生活圏研究所代表 中谷 健太郎氏	
	■第6回：2008年12月18日（木）18：00～19：30 「観光の世紀・21世紀は「文化観光」の時代」 松江観光協会観光文化プロデューサー/元別冊文藝春秋編集長 高橋 一清氏	
	■第7回：2009年1月15日（木）18：00～19：30 「商店街は観光の原風景」 観光カリスマ/天神橋筋商店連合会会長 土居 年樹氏	
	■第8回：2009年2月19日（木）18：00～19：30 「祇園、舞妓と屋形」 祇園「つる居」 女将 田中 泰子氏	
	■第9回：2009年3月19日（木）18：00～19：30 「パネルディスカッション：観光振興と地域再生」 パネリスト： ・和歌山県知事/（社）和歌山県観光連盟会長 仁坂 吉伸氏 ・雑誌『上方芸能』代表、和歌山大学客員教授 木津川 計氏 ・和歌山大学長 小田 章 司会： ・和歌山大学副学長・観光学部教授 小畑 力人	
2009 (平成 21) 年度	■第1回：2009年6月18日（木）18：00～19：30 「もっと「コミュニケーション」と「ホスピタリティ」を！」 特定非営利活動法人 あしづえ理事長/八雲国際演劇祭芸術監督 園山 土筆氏	フォルテワジマ4階
	■第2回：2009年7月16日（木）18：00～19：30 「地域活性化手法として、オンパクの展開」 (株)鶴田ホテル 代表取締役社長/NPO法人 ハットウ・オンパク 代表理事 鶴田 浩一郎氏	
	■第3回：2009年9月17日（木）18：00～19：30 「日本における観光立国は成功するか？ —観光立国時代の地域づくり—」 北海道大学 観光学高等研究センター長/北海道大学大学院 観光創造専攻長/国立民族学博物館 教授 石森 秀三氏	
	■第4回：2009年10月15日（木）18：00～19：30 「小布施のまちづくり」 長野県小布施町長 市村 良三氏	
	■第5回：2009年11月19日（木）18：00～19：30 「観光立国と地域の振興及び観光産業の事業再生」 「和多屋別荘」社長 小原 健史氏	
	■第6回：2009年12月17日（木）18：00～19：30 「限界集落と地域再生」 長野大学 環境ツーリズム学部 教授 大野 晃氏	
	■第7回：2010年1月21日（木）18：00～19：30 「足元にあるものを活かし暮らしをデザインする」 (株)石見銀山生活文化研究所 取締役所長 松場 登美氏	

	<p>■第8回：2010年2月18日（木）18：00～19：30 ①「地域づくりのきっかけ」 那智勝浦町色川地域振興推進委員会 会長 原 和男氏 ②「熊野信仰文化の魅力発信」 新宮市商工観光課 山本 殖生氏</p> <p>■第9回：2010年3月18日（木）18：00～19：30 「パネルディスカッション：観光振興と地域再生」 パネリスト：・雑誌『上方芸能』代表・和歌山大学客員教授 木津川 計氏 ・観光学部長 大橋 昭一</p>	
2010（平成22）年度	<p>■第1回：2010年10月15日（金）18：00～19：30 「成長戦略としての観光立国ー日本のエンジンターボ」 国土交通省 観光庁長官 溝畑 宏氏</p> <p>■第2回：2010年10月21日（木）18：00～19：30 「秋津野」未来への挑戦」 農業法人株式会社秋津野 副社長 玉井 常貴氏</p> <p>■第3回：2010年11月11日（木）18：00～19：30 「魅力あるツーリズムのメニュー作りとテーマ」 JTC.スイス代表 山田 桂一郎氏</p> <p>■第4回：2010年12月2日（木）18：00～19：30 「本モノのサービスとは」 株式会社日本旅行 おもしろ旅企画ヒラタ屋 平田 進也氏</p> <p>■第5回：2011年1月20日（木）18：00～19：30 「観光資源 創る人、守る人」 愛媛県内子町・八日市護国街並み保存センター所長 岡田 文淑氏</p> <p>■第6回：2011年2月17日（木）18：00～19：30 「由布院は、今」 由布市議員・地域生活圏研究所主任研究員 小林 華弥子氏</p> <p>■第7回：2011年3月17日（木）18：00～19：30 「パネルディスカッション：観光振興と地域再生」 パネリスト：・観光学部長 大橋 昭一 ・和歌山大学客員教授・雑誌『上方芸能』発行人 木津川 計氏 コーディネーター：・観光学部教授 小畑 力人</p>	フォルテワジマ 4階、およびダイワロイネットホテル和歌山4階
2011（平成23）年度	<p>■第1回：2011年10月13日（木）18：00～19：30 「今こそ観光立国の実現を！」 観光庁観光地域振興部長 志村 格氏</p> <p>■第2回：2011年10月20日（木）18：00～19：30 「～子孫に遺す町づくりへの挑戦～ 町をブランド化した男の話」 ((有)綾わくわくファーム代表 浜田 倫紀氏</p> <p>■第3回：2011年11月17日（木）18：00～19：30 「観光地でもない山村に人が来る馬路村農協の取り組み」 高知県馬路村農業協同組合 代表理事専務 東谷 望史氏</p> <p>■第4回：2011年12月15日（木）18：00～19：30 「住民自治と地域経営ー文化経済自立都市・飯田への挑戦」 飯田市長 牧野 光朗氏</p> <p>■第5回：2012年1月19日（木）18：00～19：30 「地域素材の活用術と観光による産業循環」 NPO法人「素材広場」理事長 横田 純子氏</p> <p>■第6回：2012年2月16日（木）18：00～19：30 「中山間地域を活かす～人こそが地域を創る」 ゆめ倶楽部21 山下 泰三氏</p> <p>■第7回：2012年3月8日（木）18：00～19：30 「パネルディスカッション 和歌山県の観光と地域の明日を語る」 パネリスト：・和歌山県知事 仁坂 吉伸氏 ・和歌山大学観光学部長 山田 良治 コーディネーター： 観光学部教授 小畑 力人</p>	フォルテ・ワジマ 4階、およびホテルアパローム紀の国
2012（平成24）年度	<p>■第1回： 2012年10月11日（木）18：00～19：30 「観光立国の推進について」 観光庁観光地域振興部長 瀧本 徹氏</p> <p>■第2回：2012年10月25日（木）18：00～19：30 「都市と農村の交流拠点「めっけもん広場」が農業を、地域を元気にする」 JA 紀の里 常務理事 大原 稔氏</p> <p>■第3回：2012年11月29日（木）18：00～19：30 「移動で世界を元気にする企業 ～世界中の人の移動にバリューイノベーションを起こす～」 WILLER ALLIANCE 株式会社 代表取締役社長 村瀬 茂高氏</p> <p>■第4回：2012年12月20日（木）18：00～19：30 「しあわせ農泊 ～安心院町グリーンツーリズムの目指すもの～」 NPO法人安心院町グリーンツーリズム研究会会長 宮田 静一氏</p> <p>■第5回：2013年1月31日（木）18：00～19：30 「ホテルエが求められる時代 ～ホテル業界の現状と課題」 宿屋大学 代表 近藤 寛和氏</p> <p>■第6回：2013年2月21日（木）18：00～19：30 「ネットワークと地域振興」「21世紀の真庭塾」事務局長（真庭市バイオファクトリー推進協議会 事務局長） 仁枝 章氏</p> <p>■第7回：2013年3月7日（木）18：00～19：30 「パネルディスカッション「地域振興と観光産業」」 パネリスト：・和歌山大学観光学部長 山田 良治 ・和歌山大学観光学部副学部長 藤田 武弘 コーディネーター：和歌山大学観光学部副学部長 廣岡 裕一</p>	フォルテ・ワジマ 4階 イベントホール
2013（平成25）年度	<p>■第1回：2013年10月10日（木）18：00～19：30 「観光立国の推進と地域活性化」 観光庁観光地域振興部長 吉田 雅彦氏</p> <p>■第2回：2013年10月24日（木）18：00～19：30 「森で経済を作る ～農山村地域と都市の企業との新たな協働のカたち」 社団法人国土緑化推進機構 政策企画部 木俣 知大氏</p> <p>■第3回：2013年11月21日（木）18：00～19：30 「日本版DMO概論 ～Destination Marketing & Management～」NPO法人グローバルキャンパス理事長 大社 充氏</p> <p>■第4回：2013年12月5日（木）18：00～19：30 「～高校生レストランの仕掛け人が語る～ 地域の宝を探し出せ！」 三重県多気町まちの宝創造特命監 岸川 政之氏</p> <p>■第5回：2014年1月23日（木）18：00～19：30 「インバウンド観光新戦略と日本酒の魅力の世界へ」 株式会社 リンカイ 代表取締役社長 李 容淑氏</p> <p>■第6回：2014年2月20日（木）18：00～19：30 「農工商連携とコミュニティビジネス」 農業法人株式会社 秋津野 専務取締役 木村 則夫氏</p>	フォルテ・ワジマ 4階 イベントホール、および和歌山東急イン2階会議室

	<p>■第7回：2014年3月6日(木) 18:00~19:30 「パネルディスカッション「地域振興と観光産業」」 パネリスト：・和歌山大学観光学部長 山田 良治氏 ・和歌山大学観光学部副学部長 廣岡 裕一氏 コーディネーター：和歌山大学観光学部副学部長 藤田 武弘氏</p>	
2014 (平成 26) 年度	<p>■第1回：2014年10月9日(木) 18:00~19:30 「観光立国の実現と魅力ある観光地域づくり」 観光庁観光地域振興部長 吉田 雅彦氏</p> <p>■第2回：2014年10月16日(木) 18:00~19:30 「地域とともに歩む都市農業(都市農業の実践と展望)」 白石農園・大泉風のがっこう園主 白石 好孝氏</p> <p>■第3回： 2014年11月13日(木) 18:00~19:30 「ドン・キホーテ観光立国への挑戦」 株式会社ジャパン インバウンド ソリューションズ 代表取締役社長 中村 好明氏</p> <p>■第4回：2014年12月11日(木) 18:00~19:30 「熊野古道に外国人旅行者を呼び込む着地型旅行会社」 一般社団法人 田辺市熊野ツーリズムビューロー会長 多田 稔子氏</p> <p>■第5回：2015年1月29日(木) 18:00~19:30 「カジノを含むIR法案の考え方」 大阪商業大学 学長 谷岡 一郎氏</p> <p>■第6回：2015年2月26日(木) 18:00~19:30 「パネルディスカッション「地域振興と観光産業」」 パネリスト：・和歌山大学観光学部長 山田 良治氏 ・和歌山大学観光学部副学部長 藤田 武弘氏 コーディネーター：和歌山大学観光学部副学部長 廣岡 裕一氏</p>	フォルテ・ワジマ 4階 イベントホール
2015 (平成 27) 年度	<p>■第1回：2015年10月8日(木) 18:00~19:30 「観光立国の更なる推進と観光地域活性化の取り組み」 観光庁観光地域振興部長 加藤 庸之氏</p> <p>■第2回：2015年10月22日(木) 18:00~19:30 「料理人が繋ぐ生産と消費 ～物語性のある食の提供を通じた人材育成～」 辻調理師専門学校・辻製菓専門学校 コミュニケーション本部 企画部副部長 尾藤 環氏</p> <p>■第3回：2015年11月12日(木) 18:00~19:30 「紀州へ呼び込め！外国人観光客～ありのままを宝に～」 株式会社やまとごころ 代表取締役 村山 慶輔氏</p> <p>■第4回：2015年12月10日(木) 18:00~19:30 「マダロ生かしマダロを超える！大間のゲリラ的まちおこし」 Yプロジェクト株式会社 代表取締役 島 康子氏</p> <p>■第5回：2016年1月28日(木) 18:00~19:30 「ふるさとの魅力再発見と発信～花火と映画で平和をつくる～」 月刊地域情報紙 マイスキップ 代表 渡辺 千雅氏</p>	フォルテワジマ4階 イベントホール、および ホテルアバローム 紀の国2階 鳳凰の間
2016 (平成 28) 年度	<p>■第1回：2016年10月20日(木) 18:00~19:30 「世界が訪れたい「観光先進国」への新たな国づくり」 観光庁観光地域振興部長 加藤 庸之氏</p> <p>■第2回：2016年11月10日(木) 18:00~19:30 「「島を繁盛させる」離島の観光協会を目指して ～次世代型・海士版DMOへ～」 株式会社島ファクトリー 代表取締役 青山 敦士氏</p> <p>■第3回：2016年12月1日(木) 18:00~19:30 「鉄道経営論」 東海旅客鉄道株式会社 相談役 須田 寛氏</p> <p>■第4回：2016年12月22日(木) 18:00~19:30 「日本版DMOによるこれからの観光振興の方向性」 株式会社ジェイティービー 国内事業本部 法人事業部 観光戦略チーム観光立国推進担当マネージャー 山下 真輝氏</p> <p>■第5回：2017年1月12日(木) 18:00~19:30 「人は何故そこに行きたがるのか？ ～日常が観光資源となり得る可能性～」 ki design firm 代表 越前屋 依太氏</p>	フォルテワジマ4階 イベントホール

□ 地域活性化システム論

主催：和歌山大学観光学部

年度	開催日	テーマ、および講師	会場
2010 (平成 22) 年度	2010年 11月27日(土)	<p>①10:50~12:20 「地域活性の経営学」 観光学部長 大橋 昭一</p> <p>②13:10~14:40 「地域活性化と情報発信」 観光学部教授 田中 豪</p> <p>③14:50~16:20 「地域活性の倫理」 観光学部教授 加藤 久美</p> <p>④16:30~18:00 「景観規制関係法令」 観光学部講師 澤田 知樹</p>	フォルテ・ワジマ 6階 カレッジ&オフィスフロア内 和歌山大学まちかどサテライト セミナー室2
2011 (平成 23) 年度	2011年 12月3日(土)	<p>①10:50~12:20 「交流企画プロデュースと地域活性化 ～ゼミ活動を通じた交流企画プロデュース～」 観光学部教授 廣岡 裕一</p> <p>②13:10~14:40 「景観問題と協働のまちづくり」 観光学部長 山田 良治</p> <p>③14:50~16:20 「日本の観光と大学」 観光学部教授 小畑 力人</p> <p>④16:30~18:00 「地域経済活性化と会計の考え方」 観光学部教授 川端 保至</p>	和歌山大学 観光学部棟T101 教室
2012 (平成 24) 年度	2012年 12月1日(土)	<p>①10:50~12:20 「交流企画プロデュースと地域活性化 ～ゼミ活動を通じた交流企画プロデュース～」 観光学部教授 廣岡 裕一</p> <p>②13:10~14:40 「景観問題と協働のまちづくり」 観光学部長 山田 良治</p> <p>③14:50~16:20 「居住地再生の観点から観光を考える」 観光学部准教授 堀田 祐三子</p> <p>④16:30~18:00 「森林ツーリズムと地域づくり」 観光学部准教授 大浦 由美</p>	和歌山大学 観光学部棟T101 教室

2013 (平成 25) 年度	2013 年 11月30日(土)	①10:50~12:20 「地域資源の活用と農山村の地域再生」 観光学部教授 藤田 武弘	和歌山大学 観光学部棟 T101 教室
		②13:10~14:40 「景観問題と協働のまちづくり」 観光学部長 山田 良治	
		③14:50~16:20 「歴史的環境の保全と観光まちづくり」 観光学部講師 永瀬 節治	
		④16:30~18:00 「地域活性化とホスピタリティ (宿泊産業を中心に)」 観光学部准教授 竹田 明弘	
2014 (平成 26) 年度	2014 年 11月29日(土)	①10:50~12:20 「地域資源の活用と農山村地域の再生」 観光学部教授 藤田 武弘	和歌山大学 観光学部棟 T101 教室
		②13:10~14:40 「地域のマーケティング」 観光学部准教授 佐々木 壮太郎	
		③14:50~16:20 「地域活性化のための統計利用」 観光学部准教授 大井 達雄	
		④16:30~18:00 「景観問題と協働のまちづくり」 観光学部長 山田 良治	
2015 (平成 27) 年度	2015 年 11月28日(土)	①10:50~12:20 「地域活性化と観光地のイメージ」 観光学部教授 神田 孝治	和歌山大学 観光学部棟 T101 教室
		②13:10~14:40 「地域の活性化と国際観光」 観光学部教授 東 悦子	
		③14:50~16:20 「地域活性化とマネジメントシステム」 観光学部教授 出口 竜也	
		④16:30~18:00 「始まった都市と農村の新たな関係」 観光学部長 藤田 武弘	
2016 (平成 28) 年度	2016 年 11月26日(土)	①10:50~12:20 「観光地の形成とイメージ」 観光学部教授 神田 孝治	和歌山大学 観光学部棟 T101 教室
		②13:10~14:40 「観光と行政の役割」 観光学部准教授 澤田 知樹	
		③14:50~16:20 「地域活性化とインバウンド戦略」 観光学部准教授 佐野 楓	
		④16:30~18:00 「始まった都市と農村の新たな関係」 観光学部長 藤田 武弘	

□ 観光学研究セミナー (2013~2014 年度) / 観光教育研究セミナー (2015 年度~)

主催：和歌山大学観光学部、和歌山大学大学院観光学研究科 (2013 年度)、
和歌山大学観光学会 (2014 年度)、和歌山大学国際観光学研究センター (2015 年度~)

年度	開催日	テーマ、および講師	会場
2013 (平成 25) 年度	2013 年 7月9日(火) 13時10分~14時40分	観光学研究セミナー 「Developing a PhD Research in Tourism: Challenges and Lessons Learned」 永井 隼人氏 (PhD Candidate, School of Tourism, The University of Queensland)	和歌山大学 基礎教育棟 G202 教室
	2013 年 12月12日(木) 13時10分~14時40分	観光学研究セミナー Vol.2 「Mixed Methods Approaches in Tourism Research」 永井 隼人氏 (クイーンズランド大学 School of Tourism 博士課程、和歌山大学観光学部研究員)	和歌山大学 基礎教育棟 G202 教室
	2014 年 1月30日(木) 13時10分~14時40分	観光学研究セミナー Vol.3 「内戦・震災からの復興と観光」 ルベン・ゴンザレス氏 (元 WHO 中南米支局顧問、グアテマラ共和国国内務省アドバイザー、医師)	和歌山大学 観光学部棟 T101 教室
2014 (平成 26) 年度	2014 年 4月21日(月) 11時~12時	観光学研究セミナー2014 Vol.1 「The China Outbound Developments and Its Implications」 Professor Hanqin Qiu (School of Hotel and Tourism Management, The Hong Kong Polytechnic University)	和歌山大学 附属図書館 3 階 マルチルーム 1
	2014 年 7月7日(月) 10時50分~12時20分	観光学研究セミナー2014 Vol.2 「Graduate Research in Tourism: Current Trends and Examples from Australia 大学院におけるツーリズム研究：最近の傾向とオーストラリアの事例」 永井 隼人氏 (PhD Candidate, Tourism Cluster, UQ Business School, The University of Queensland 和歌山大学観光学部研究員)	和歌山大学 経済学部棟 E103 教室
	2014 年 7月24日(木) 13時10分~14時40分	観光学研究セミナー2014 Vol.3 「Multi-sensorial experiences at Aso Farmland, Kumamoto, Japan 阿蘇ファームランドにおけるセンソリー・ツーリズム (5感を使った観光体験)」 ・ Dr. David J. Telfer (Associate Professor, Tourism and Environment, Brock University Associate, Brock Environmental Sustainability Research Centre) ・ Dr. Atsuko Hashimoto (Associate Professor, Tourism and Environment, Brock University Associate, Brock Environmental Sustainability Research Centre)	和歌山大学 基礎教育棟 G202 教室
	2014 年 7月24日(木) 14時50分~16時20分	観光学研究セミナー2014 Vol.4 「震災復興のツーリズム」 ・ Dr. Miguela M. Mena (Dean, University of the Philippines Asian Institute of Tourism) ・ Dr. Richard Philip A. Gonzalo (Assistant Professor, University of the Philippines, Director, Socialized Tuition System (STS) Office, University of the Philippines、和歌山大学観光学部客員フェロー)	和歌山大学 基礎教育棟 G202 教室

	2014年 10月15日(木) 13時10分～14時40分	観光学研究セミナー2014 Vol.5 「Japanese Women in late-Meiji Australia: the portrayal of self-identity in portrait photographs c1895-1915」 Cate Pearce 氏 (カーティン大学 歴史家・系図学者 (Independent historian and genealogist))	和歌山大学 経済学部棟 E104 教室
	2014年 11月11日(火) 10時50分～12時20分	観光学研究セミナー2014 Vol.6 「Tourism Marketing in Taiwan」 蘇 哲仁 (SU Che-Jen) 教授 (天主教輔仁大学 レストラン・ホテル施設マネジメントコース 教授)	和歌山大学 観光学部棟 T101 教室
	2014年 11月13日(木) 14時50分～16時20分	観光学研究セミナー2014 Vol.7 「Successful Innovation Management in the Hospitality Industry」 Dr. Michael C. Ottenbacher (Professor, Faculty of International Business (IB), Heilbronn University)	和歌山大学 経済学部棟 E104 教室
	2014年 11月27日(木) 13時10分～14時40分	観光学研究セミナー2014 Vol.8 「Senior tourism: 高齢者のツーリズムの現状と課題」 Ms. Lintje SIE (PhD Candidate, Tourism Cluster, UQ Business School, The University of Queensland, 和歌山大学観光学部研究員)	和歌山大学 経済学部棟 E104 教室
	2014年 12月17日(水) 13時10分～14時40分	観光学研究セミナー2014 Vol.9 「明治時代における日豪人間交流の展開: 渡邊勤十郎氏の『濠洲探検報告書』と日本人の契約労働者を中心に」 Dr. Donna Weeks (国際関係論博士、サンシャインコースト大学日本研究および国際政治論講師、和歌山大学観光学部客員フェロー)	和歌山大学 経済学部棟 E104 教室
2015 (平成 27) 年度	2015年 5月20日(水) 10時50分～12時20分	観光教育研究セミナー2015 Vol.1 「エルトゥールル Frigate Ertugrul -An Ottoman Ship in Japan」 Mr. Tufan Turanli (Director, Frigate Ertugrul Expedition, Bodrum, Turkey- Kushimoto, Japan, Chairman, BOSAV (Bodrum and Karia - History, Promotion and Tourism) Foundation-Bodrum, Turkey, Research associate, Institute of Nautical Archaeology, Texas, USA, 和歌山大学観光学部特別研究員 (客員フェロー))	和歌山大学 基礎教育棟 G205 教室
	2015年 6月29日(月) 14時50分～16時20分	観光教育研究セミナー2015 Vol.2 「スペイン・ガリシア州 サンティアゴ・デ・コンポステーラ 巡礼道と大学での学び -国際化にむけて-」 Ms. Anne May Forryan (Section chief, International Relations Office - SANTIAGO, University of Santiago de Compostela)	和歌山大学 基礎教育棟 G206 教室
	2015年 7月2日(木) 13時10分～14時40分	観光教育研究セミナー2015 Vol.3 「Tourism Development in Niagara Falls, Canada」 ・Dr. David J. Telfer (Associate Professor, Tourism Management, Brock University, Associate, Brock Environmental Sustainability Research Centre) ・Dr. Atsuko Hashimoto (Associate Professor, Tourism Management, Brock University, Associate, Brock Environmental Sustainability Research Centre)	和歌山大学 基礎教育棟 G206 教室
	2015年 7月17日(金) 10時50分～12時20分	観光教育研究セミナー2015 Vol.4 「高等教育における観光研究と研究教育」 Prof. Kaye Chon (Dean and Chair Professor, Walter Kwok Foundation Professor in International Hospitality Management, School of Hotel and Tourism Management, The Hong Kong Polytechnic University (香港理工大学)) *台風接近に伴う悪天候のため中止	和歌山大学 附属図書館 3階 マルチルーム 1
	2015年 7月24日(金) 10時50分～12時20分	観光教育研究セミナー2015 Vol.5 「Benefits of Studying Hospitality and Tourism in Phuket」 ・Associate Professor Dr. Prathana Kannaovakun (Dean, Faculty of Hospitality and Tourism, Prince of Songkla University, Phuket Campus) ・Dr. Pornpisanu Promsivapallop (Associate Dean for Academic and International Affairs, Faculty of Hospitality and Tourism, Prince of Songkla University, Phuket Campus)	和歌山大学 基礎教育棟 G306 教室
	2015年 11月5日(木) 14時50分～16時20分	観光教育研究セミナー2015 Vol.6 「講師が語る「エルトゥールル号海難事件とトルコ航空機日本人救出劇」」 旭堂 南陽氏 (講師、大阪旭堂南陽一門) *協力: 東映株式会社	和歌山大学 観光学部棟 T101 教室
	2015年 11月18日(水) 13時10分～14時40分	観光教育研究セミナー2015 Vol.7 「Sport Event Volunteering」 Dr. Sheranne Fairley (Senior Lecturer, UQ Business School, The University of Queensland)	和歌山大学 附属図書館 3階 マルチルーム 1
	2015年 12月9日(水) 14時50分～16時20分	観光教育研究セミナー2015 Vol.8 「Mind the Gaps? Tourism Risk Management Research」 Professor Brent W. Ritchie (UQ Business School, Faculty of Business, Economics and Law, The University of Queensland, 和歌山大学特別主幹教授)	和歌山大学 附属図書館 3階 マルチルーム 1
	2015年 12月10日(木) 16時～18時	観光教育研究セミナー2015 Vol.9 「教育旅行と危機管理 Educational tourism and Risk management」 Professor Brent W. Ritchie (UQ Business School, Faculty of Business, Economics and Law, The University of Queensland, 和歌山大学特別主幹教授) *後援: 留学・語学研修等協議会 (CIEL)、一般社団法人日本旅行業協会 (JATA)	東京工業大学キャンパスインノベーションセンター 2階 多目的室 1
	2015年 12月16日(水) 13時10分～14時40分	観光教育研究セミナー2015 Vol.10 「The politics of tourism policy process」 Associate Professor Edieser Dela Santa (The University of the Philippines Asian Institute of Tourism)	和歌山大学 附属図書館 3階 マルチルーム 1

2016 (平成28) 年度	2016年 6月17日(金) 13時10分~14時40分	観光教育研究セミナー2016 Vol.1 「日本におけるスポーツツーリズム ～和歌山大学での国際共同研究について～」 CTR Tourism & Sports ユニット 講師： ・Prof Tom Hinch (アルバータ大学教授、和歌山大学特別主幹教授) ・Prof Gordon J. Walker (アルバータ大学教授、和歌山大学特別主幹教授) モデレーター：伊藤 央二 (観光学部講師)	和歌山大学 国際観光学研究センター会議室
	2016年 7月4日(月) 14時50分~16時20分	観光教育研究セミナー2016 Vol.2 「100年後も雪国であるために 雪国観光圏が進める観光地域づくりについて」 井口 智裕氏 (株) いせん代表取締役)	和歌山大学 経済学部棟 E104 教室
	2016年 7月12日(火) 16時30分~18時	観光教育研究セミナー2016 Vol.3 「Re-visiting the Tourist Gaze」 Professor Jonas Larsen (Professor in Mobilities and Urban Studies, Department of People and Technology, Roskilde University, Denmark)	和歌山大学 国際観光学研究センター会議室
	2016年 8月9日(火) 15時~17時30分	スポーツ・文化・ワールド・フォーラム公式サイドイベント 観光教育研究セミナー2016 Vol.4@和歌山大学首都オフィス 「スポーツツーリズム ～メガイイベントが日本社会を変える～」 基調講演講師： Prof Tom Hinch (アルバータ大学教授、和歌山大学特別主幹教授) パネリスト： ・仙台 光仁 (スポーツ庁 参事官 (地域振興担当)) ・伊藤 央二 (観光学部講師) モデレーター：加藤 久美 (観光学部教授/国際観光学研究センター副センター長) *後援：スポーツ庁、観光庁	東京工業大学キャンパスイノベーションセンター 1階 国際会議室
	2016年 10月27日(木) 16時30分~18時	観光教育研究セミナー2016 Vol.5 「人新世」におけるサステイナブル・ツーリズムの課題と可能性 Dr. Abhik Chakraborty (国際観光学研究センター専任研究員/講師)	和歌山大学 観光学部棟 T101 教室
	2016年 12月13日(火) 13時10分~14時40分	観光教育研究セミナー2016 Vol.6 「Why I believe you made right choice of studying tourism ツーリズムを学ぶべき理由」 Mr. Hae-Guk (Harry) Hwang (Deputy Regional Director for Asia and the Pacific, World Tourism Organization (UNWTO))	和歌山大学 国際観光学研究センター会議室
	2016年 12月17日(土) 15時~17時30分	観光教育研究セミナー2016 Vol.7 in 東京 「観光からみた宇宙」 ・基調講演 「宇宙という新たな体験の場」 山崎 直子 (元 JAXA 宇宙飛行士、宇宙政策委員会委員 (内閣府)、和歌山大学 観光教育研究アドバイザーボードメンバー、同 国際観光学研究センター客員特別研究員) ・活動紹介 「観光と宇宙：和歌山大学観光学部の取り組み」 尾久土 正己 (和歌山大学 観光学部教授、同 国際観光学研究センター研究員) ・活動紹介 「分野を超えた宇宙研究：京都大学宇宙ユニットの取り組み」 磯部 洋明 (京都大学大学院 総合生存学館准教授) ・パネルディスカッション 「大学生からみた宇宙」 パネリスト： ・山崎 直子 ・秋山 演亮 (和歌山大学協働教育センター (災害科学教育研究センター) 教授、同 国際観光学研究センター研究員) ・梶田 太陽 (和歌山大学観光学部 1 回生) ・中里 真 (京都大学大学院人間・環境学研究科修士 1 回生) モデレーター： ・中串 孝志 (和歌山大学 観光学部准教授、同 国際観光学研究センター研究員、Space & Mobility ユニットリーダー) *共催 京都大学 宇宙総合学研究ユニット 後援：観光庁	フクラシア品川 クリスタルスクエア (港南口) 2階 会議室C
	2016年 12月22日(木) 14時50分~16時20分	観光教育研究セミナー2016 Vol.8 「I am not a tree: On relationality and becoming in travel, tourism, and sport」 Dr. Adam Doering (国際観光学研究センター専任研究員/准教授)	和歌山大学 国際観光学研究センター会議室
	2017年 1月19日(木) 16時30分~18時	観光教育研究セミナー2016 Vol.9 「The role of the Edinburgh World Heritage Trust in Managing a World Heritage City」 Professor Anna Leask (英国エディンバラ・ネビア大学ビジネススクール教授、和歌山大学特別主幹教授)	和歌山大学 国際観光学研究センター会議室
	2017年 3月2日(木) 13時10分~14時40分	観光教育研究セミナー2016 Vol.10 「Wakayama in the Perception of Thai Tourists: Opportunities and Challenges」 Dr. Amnaj Khaokhruemuang (国際観光学研究センター専任研究員/講師)	和歌山大学 国際観光学研究センター会議室
2017年 3月2日(木) 14時50分~16時20分	観光教育研究セミナー2016 Vol.11 「Tourism Management Research: What, Who and Why」 永井隼人氏 (国際観光学研究センター専任研究員/講師)	和歌山大学 国際観光学研究センター会議室	

□ 和歌山大学観光学会大会／例会

主催：和歌山大学観光学会 共催：和歌山大学観光学部（2012年度～）

年度	開催日	プログラム概要	会場
2011（平成23） 年度	2012年 3月20日（火） 13時～16時20分	和歌山大学観光学会 第1回大会 ■研究発表（13：10～14：10） ■2011年度卒業論文賞 受賞論文発表（14：25～15：10） ■2011年度観光学研究科ブレ修士論文発表（15：10～16：10）	和歌山大学 基礎教育棟 G101 教室
2012（平成24） 年度	2012年 11月22日（木） 13時30分～16時30分	2012年度和歌山大学観光学会例会 観光研究フォローアップ・プロジェクト 第1回例会（総論） ・大橋 昭一「観光研究におけるいくつかの考え方」 ・廣岡 裕一「観光学とはなにかー観光学の独自性ー」 ・山田 良治「観光学の確立とその方法」	和歌山大学 経済学部棟 E-201 教室
	2013年 1月24日（木） 13時30分～16時30分	2012年度和歌山大学観光学会例会 観光研究フォローアップ・プロジェクト 第2回例会（各論・経営分野） ・大井 達雄「観光統計学・観光経済学の研究動向」 ・竹田 明弘「ホテルエの職務満足の規定要因」 ・出口 竜也「観光経営研究の確立に向けた一試論」	和歌山大学 経済学部棟 E-201 教室
	2013年 2月28日（木） 13時30分～15時30分	2012年度和歌山大学観光学会例会 観光研究フォローアップ・プロジェクト 第3回例会（各論・地域再生分野） ・堀田 祐三子「建築・都市計画分野における観光研究の動向」 ・大浦 由美「森林分野における観光研究の動向」	和歌山大学 観光学部棟 T101 教室
	2013年 3月20日（水） 13時30分～16時30分	2012年度和歌山大学観光学会例会 観光研究フォローアップ・プロジェクト 第4回例会（各論・文化分野） ・加藤 久美「サステナビリティと観光」 ・神田 孝治「文化／空間論的転回と観光学」 ・東 悦子「観光と異文化コミュニケーション」 ・米山 龍介「音楽からのアプローチ」	和歌山大学 観光学部棟 T101 教室
	2013年 3月25日（月） 9時10分～16時	和歌山大学観光学会 第2回大会 ■第1部（9：10～13：45）： ・2012年度 観光学研究科 修士論文報告（M2 成果発表）（各20分） ・2012年度 観光学研究科 ブレ修士論文報告（M1 中間発表）（各5分） ・2012年度観光学部卒業論文賞・修士論文賞受賞者による口頭発表（各20分） ■第2部（14：00～16：00） ・特別講演「イギリスにおける観光研究」（グレアム・ミラー教授）	和歌山大学 観光学部棟 T101 教室
2013（平成25） 年度	2014年 3月24日（月） 9時10分～17時	和歌山大学観光学会 第3回大会 ■第1部（9：10～15：15） ・2013年度 観光学研究科 ブレ修士論文報告（M1 中間発表）（各発表7分、質疑応答3分） ・2013年度 観光学研究科 修士論文報告（M2 成果発表）（各発表15分、質疑応答5分） ・2013年度 和歌山大学観光学部卒業論文賞受賞者による口頭発表（各発表15分、質疑応答5分） ■第2部（15：30～17：00） 退任記念講演「観光学部専門演習での勉強方法の試み」（川端保至 和歌山大学観光学部教授）	和歌山大学 観光学部棟 T101 教室
2014（平成26） 年度	2015年 3月24日（火） 9時～18時	和歌山大学観光学会 第4回大会 ・2014年度 観光学研究科 ブレ修士論文報告（M1 中間発表） ・2014年度 観光学研究科 修士論文報告（M2 成果発表） ・2014年度 和歌山大学観光学部卒業論文賞受賞者による口頭発表 ・2014年度 和歌山大学大学院観光学研究科博士後期課程（D1 報告検討会）	和歌山大学 観光学部棟 T101 教室
2015（平成27） 年度	2016年 3月24日（木） 9時～18時	和歌山大学観光学会 第5回大会 ・2015年度 観光学研究科 修士論文報告（M2 成果発表） ・2015年度 和歌山大学観光学部卒業論文賞受賞者による口頭発表 ・2015年度 和歌山大学大学院観光学研究科博士後期課程（D1 報告検討会） ・2015年度 和歌山大学大学院観光学研究科博士後期課程（D2 報告検討会）	和歌山大学 観光学部棟 T101 教室
2016（平成28） 年度	2017年 3月23日（木） 9時10分～17時10分	和歌山大学観光学会 第6回大会 ・2016年度 観光学研究科 修士論文報告（M2 成果発表） ・2016年度 和歌山大学観光学部卒業論文賞受賞者による口頭発表 ・2016年度 和歌山大学大学院観光学研究科博士後期課程（D1 報告検討会） ・2016年度 和歌山大学大学院観光学研究科博士後期課程（D2 報告検討会） ・2016年度 和歌山大学大学院観光学研究科博士後期課程修了生報告会	和歌山大学 観光学部棟 T101 教室

単発開催

年度	開催日時	タイトル、テーマおよび講師	会場
2008 (平成 20) 年度	2008 年 6月8日 (日)	和歌山大学創立60年記念式典及び観光学部設置記念式典 講演講師： セーラ・マリ・カミングス氏 ((株)樹一市村酒造場取締役)	ホテルグランヴィア和歌山
2009 (平成 21) 年度	2009 年 11月28日 (土)	カリフォルニア(米)×ハワイ(米)×クイーンズランド(豪)×和歌山 4地点中継・国際シンポジウム 「和歌山から世界への移民 一人の歴史を学び、新たな国際交流へ」 共催：太地町公民館、太地町国際交流協会、和歌山県立新翔高等学校、和歌山大学紀州経済史文化史研究所 後援：和歌山県、和歌山県教育委員会、和歌山市、和歌山市教育委員会、和歌山日米協会、和歌山大学国際教育研究センター 協力：和歌山市民図書館、(財)和歌山県国際交流協会、太地町、太地町立くじらの博物館、ターミナル・アイランダーズ、JICA 大阪国際センター、和歌山県中南米交流協会、株式会社島精機製作所 (フュージョンミュージアム ニット×トイ)	フォルテ・ワジマ 3階フュージョンミュージアム ニット×トイ 多目的ホール
	2009 年 12月12日 (土)、 12月19日 (土)、 2010 年 1月9日 (土)	平成 21 年度観光経営マネジメント研修 (観光関連産業向け) 【主催】社団法人日本観光協会 【事業実施主体】(財)日本交通公社 【連携大学】和歌山大学、山口大学、首都大学東京、横浜商科大学、立命館アジア太平洋大学、早稲田大学 ■2009 年 12 月 12 日 (土) 10:50~18:00 ・「経営学総論」 和歌山大学観光学部長 大橋 昭一 ・「経営戦略論」 立命館大学経営学部 石崎 祥之准教授 ・「マーケティング概論」 流通科学大学サービス産業学部 高橋 一夫教授 ・「IT 概論」 藍野大学 大井 達雄准教授 ■2009 年 12 月 19 日 (土) 10:50~18:00 ・「ホスピタリティ概論」 九州産業大学 乾 弘幸教授 ・「宿泊施設におけるホスピタリティ」 株式会社ロイヤルホテル 執行役員 中矢 英俊氏 ・「観光関連法規」 和歌山大学観光学部 廣岡 裕一教授 ・「観光法規の実用的運用」JATA 関西支部 事務局次長 林 五郎氏 ■2010 年 1 月 9 日 (土) 10:50~18:00 ・「財務概論」 和歌山大学観光学部 西村 尚剛教授 ・「京都観光と地元地元金融機関の取組み」 株式会社京都銀行 法人部観光室長 秋野 稔氏 ・「土産品ブランドの創出」 株式会社日商社 近藤 祐二氏 ・「観光企業の経営戦略」 観光企業研究家 ・修了式	フォルテ・ワジマ
	2009 年 12月13日 (日) 12時30分~17時	和歌山大学観光学部公開シンポジウム—地域資源を活かした地域の再生方策を考える— 「観光振興からの《地域ルネサンス》ビジネスモデルの構築に向けて」 【第一部】観光振興からの《地域ルネサンス》ビジネスモデルの構築：事業報告 ・「地域ルネサンスの考え方」 大橋 昭一 (和歌山大学観光学部長) ・「事業の進捗状況報告」 大津 正和 (和歌山大学観光学部) 【第二部】研究・実践報告&シンポジウム 〔研究・実践報告〕 ・「農山村資源を活用した地域づくりの可能性」 玉井 常貴 (農業法人株式会社秋津野) ・「地域資源の持続的活用と地域づくり」 高田 陽平 (由布院温泉協会、山荘わらび野) ・「都市・農村交流を通じた韓国のツーリズムへの期待」 魏 台錫 (韓国農村振興庁) ・「中国の農村再生とツーリズムへの期待」 楊 丹妮 (中国南開大学経済学院) 〔シンポジウム〕 「地域資源を活かした地域の再生方策を考える」 座長：藤田 武弘 (和歌山大学観光学部) 【第三部】情報交換会 17:30~19:00	和歌山大学 経済学部棟 E101 教室
2010 (平成 22) 年度	2010 年 6月13日 (日) 13時30分~	映画「はやぶさ・祈り」上映会 (ワールドメディアフェスティバル銀賞受賞作品) 「宇宙が和歌山にやってくる！」 解説：秋山 演亮 (和歌山大学宇宙教育研究所所長) 共催：和歌山東ライオンズクラブ 協力：JAXA(宇宙航空研究開発機構・宇宙教育センター)、和歌山県教育庁、和歌山市教育委員会、YAC(日本宇宙少年団和歌山分団)、(株)島精機製作所・フュージョンミュージアムニット&トイ	フォルテ・ワジマ 3階 フュージョンミュージアム ニット×トイ 多目的ホール
	2010 年 10月18日 (月) 13時10分~ 14時40分	小野田寛郎講演会 「～人は一人では生きられない～」 講師：小野田寛郎 (財団法人 小野田自然塾理事長) 主催：和歌山大学観光学部、(財)和歌山県国際交流協会、(財)和歌山県中南米交流協会 後援：和歌山県、和歌山市、和歌山県教育委員会 協力：和歌山大学紀州経済史文化史研究所	和歌山大学 経済学部棟 E101 教室
2011 (平成 23) 年度	2011 年 1月31日 (月) 9時10分~10時40分	大橋学部長退任記念講演会 「仕事とレジャー 一人の本性はどこにあるか」 講師：大橋 昭一 (和歌山大学観光学部長)	和歌山大学 基礎教育棟 G203 教室
	2011 年 8月11日 (木)	和歌山大学大学院観光学研究科設置記念及びシンポジウム ■基調講演「観光学教育・研究への期待」 西村 幸夫 (東京大学教授/和歌山大学客員教授) ■パネルディスカッション パネラー：・西村 幸夫 ・西阪 昇 (京都大学理事) ・大橋 昭一 (和歌山大学観光学部前学部長)	和歌山大学 観光学部棟 T101 教室

	2012年 2月23日(木) 13時15分～16時45分	和歌山大学観光学部シンポジウム 「観光と地域ブランド」 ■「地域ブランドと観光地ブランド」 大橋 昭一 (和歌山大学観光学部前学部長) ■「観光地盛衰のニューパターン」 田村 正紀 (神戸大学名誉教授・北海学園特任教授) ■「観光先進国オーストリアの観光地ブランド事例—ゲマス・レギオン—」 エルハルト ホェパウス (オーストリア政府農林環境水資源省 栄養品質保証局長・オーストリア「Regions of Delight」責任者) ■パネルディスカッション	和歌山大学 観光学部棟 T101 教室
2012 (平成 24) 年度	2013年 3月24日(日) 15時～17時	関西観光教育コンソーシアム (仮称) 設立準備会結成記念 国際シンポジウム 「イギリスにおける観光教育 Tourism education in UK」 Prof Graham Miller (Head of the School of hospitality and Tourism Management, Faculty of Business, Economics and Law University of Surrey) 主催：関西観光教育コンソーシアム (仮称) 設立準備会 共催：和歌山大学観光学部、和歌山大学観光学会	和歌山大学 観光学部棟 T101 教室
2013 (平成 25) 年度	2013年 5月16日(木) 16時30分～18時	第1回宇宙観光セミナー 「民間宇宙旅行の最新情報について」 講師：大貫 美鈴 (Space Frontier Foundation, Asia Liaison、宇宙観光ビジネスコンサルタント)	和歌山大学 基礎教育棟 G103 教室
	2013年 8月27日(火)、8月28日(水)、 8月29日(木) いずれも9時～	2013年度和歌山大学観光学部・大学院観光学研究科 公開講義 「Make Tourism More Sustainable —よりサステナブルな観光をめざして—」 講師：Prof Graham Miller (Head of the School of hospitality and Tourism Management, Faculty of Business, Economics and Law, University of Surrey、和歌山大学観光学部客員教授、 和歌山大学観光教育研究アドバイザーボードメンバー) ■Lecture 1 (8/27(火))：「What is Sustainable Development?」 ■Lecture 2 (8/27(火))：「Sustainable Consumption」 ■Lecture 3 (8/28(水))：「Corporate Social Responsibility」 ■Lecture 4 (8/29(木))：「Destination Management」	和歌山大学 観光学部棟 T101 教室
	2014年 1月15日(水) 10時50分～16時20分	国際学生研究フォーラム International Student Research Forum Caring Places 4 ~ a multi-disciplinary forum ~ ■Introduction & Welcome (会場：基礎教育棟 G107/108 教室) ・ Introduction & Welcome Prof Yoshiharu Yamada (Head, Faculty of Tourism, Wakayama University)) ■Session 1 - Keynote Address (会場：基礎教育棟 G107/108 教室) ・ 'Poems for Okami' Prof James Hatley (Professor, Salisbury University, Visiting Fellow, Faculty of Tourism, Wakayama University) ・ 'Wolf, extinction & Fukushima' Prof Kumi Kato (Professor, Faculty of Tourism, Wakayama University) ■Session 2 - Study Report (会場：経済学部棟 E105 教室) ・ Report on the intensive program Environment & Spirituality: Walking the Pilgrimage (3~15 Jan, 2014) (Group presentations & discussion from the participants) ・ Photographic presentation (A/Prof Simon Wearne (A/Professor, Faculty of Tourism, Wakayama University)) ■Session 3 - Research Exchange (会場：経済学部棟 E105 教室) ・ Brief presentations (research, projects, university studies) by Salisbury & Wakayama students.	和歌山大学 基礎教育棟 G107・ G108 教室、 および 経済学部棟 E105 教室
	2014年 3月20日(木) 14時30分～16時	2013年度 観光教育セミナー 「Tourism Education in the UK: trends and challenges イギリスにおける観光教育：現状と課題」 講師：Prof Richard Sharpley (Professor of Tourism & Development School of Sport, Tourism & The Outdoors, University of Central Lancashire) 共催：和歌山大学観光学部、関西観光教育コンソーシアム	和歌山大学 観光学部棟 T101 教室
	2014年 3月20日(木) 16時15分～17時45分	2013年度 国際研究セミナー 「Dark tourism experiences: genocide tourism in Rwanda ダークツーリズム：ルワンダ、ジェノサイド跡地における観光経験」 講師：Prof Richard Sharpley (Professor of Tourism & Development School of Sport, Tourism & The Outdoors, University of Central Lancashire) 共催：和歌山大学観光学部、和歌山大学観光学会	和歌山大学 観光学部棟 T101 教室
2014 (平成 26) 年度	2014年 4月28日(月) 15時～18時	和歌山大学大学院観光学研究科博士課程設置記念式典 「観光教育と研究～アジア、そして日本への期待」 講師：Prof Graham Miller (Head of the School of hospitality and Tourism Management, Faculty of Business, Economics and Law, University of Surrey、和歌山大学観光学部客員教授、和歌山大学観光教育研究アドバイザーボードメンバー)	ホテルグランヴィア和歌山 6階 ル・グランC、 およびアクアグラン
	2014年 5月22日(木) 13時10分～16時20分	観光研究国際化プロジェクト 第1回研究会 ■報告①：「ポストモダンとトランスモダン —現在のパラダイム・シフト—」 大橋 昭一 ■報告②：「執筆プランの概要について」 大井 達雄、大浦 由美、加藤 久美、神田 孝治、佐々木 壮太郎・竹田 明弘・竹林 明、 竹林 浩志、出口 竜也、廣岡 裕一、藤田 武弘、堀田 祐三子、山田 良治	和歌山大学 経済学部南棟 1階 103会議室
	2014年 7月31日(木) 9時10分～17時30分	観光研究国際化プロジェクト 第2回研究会 ■「執筆プランの詳細について」 大井 達雄、大浦 由美、加藤 久美、大橋 昭一、神田 孝治、佐々木 壮太郎・竹田 明弘・竹林 明、 竹林 浩志	和歌山大学 附属図書館 3階 マルチルーム 1

<p>2014年 8月7日(木) 9時10分～15時</p>	<p>観光研究国際化プロジェクト 第3回研究会 ■「執筆プランの詳細について」 出口 竜也、廣岡 裕一、藤田 武弘、堀田 祐三子、山田 良治</p>	<p>和歌山大学 経済学部南棟2階 第1講義室</p>
<p>2014年 8月25日(月)、8月26日(火)、8月27日(水) いずれも9時～</p>	<p>2014年度観光学部・観光学研究科公開講義 「サステナブルな観光をめざして」 講師：Prof Graham Miller (Head of the School of hospitality and Tourism Management, Faculty of Business, Economics and Law, University of Surrey、和歌山大学観光学部客員教授、和歌山大学観光教育研究アドバイザーボードメンバー) ■Lecture 1 (8/25(月))：「What is Sustainable Development?」 ■Lecture 2 (8/25(月))：「Sustainable Consumption」 ■Lecture 3 (8/26(火))：「Corporate Social Responsibility」 ■Lecture 4 (8/27(水))：「Destination Management」</p>	<p>和歌山大学 観光学部棟T101教室</p>
<p>2014年 9月26日(金)～9月30日(火) 8時30分～17時15分</p>	<p>展示イベント 「世界観光の日2014 in わかやま ～地域と考える“観光”～」 協力：和歌山市役所</p>	<p>和歌山市役所 1階 エントランスホール</p>
<p>2014年 10月1日(水)～10月9日(木)</p>	<p>展示イベント 「世界観光の日2014 in わかやま ～地域と考える“観光”～」</p>	<p>和歌山大学 観光学部棟2階 多目的スペース</p>
<p>2014年 11月25日(火) 10時30分～12時30分</p>	<p>観光学部セミナー 「真の「観光立国」とは ～和歌山大学に期待すること～」 講師： 藻谷 浩介氏(日本総合研究所主席研究員、日本政策投資銀行特任顧問) 山田 桂一郎氏(南紀熊野観光塾塾長、JTIC.SWISS 代表、観光カリスマ、日本エコツーリズム協会理事、和歌山大学産学連携・研究支援センター客員教授) 共催：和歌山大学南紀熊野サテライト</p>	<p>和歌山大学 観光学部棟T101教室</p>
<p>2015年 8月24日(月)、8月25日(火)、8月26日(水) いずれも9時～</p>	<p>2015年度観光学部・観光学研究科公開講義 「サステナブルな観光をめざして」 講師：Prof Graham Miller (Head of the School of hospitality and Tourism Management, Faculty of Business, Economics and Law, University of Surrey、和歌山大学特別主幹教授、国際観光学センター(仮称)設置準備室副室長、和歌山大学観光教育研究アドバイザーボードメンバー) ■Lecture 1 (8/24(月))：「What is Sustainable Development?」 ■Lecture 2 (8/24(月))：「Sustainable Consumption」 ■Lecture 3 (8/25(火))：「Corporate Social Responsibility」 ■Lecture 4 (8/26(水))：「Destination Management」</p>	<p>和歌山大学 観光学部棟T101教室</p>
<p>2015年 9月27日(日) 13時30分～17時</p>	<p>World Tourism Day 記念イベント：観光教育フォーラム2015 「大観光時代の観光教育について考える ―10億人の観光客、10億回のチャンス― One Billion Tourists, One Billion Opportunities」 講師： Mr. Mario Hardy (Chief Executive Officer, Pacific Asia Travel Association (PATA)) Prof. Richard Sharpley (Professor of Tourism & Development, School of Sport, Tourism & The Outdoors, University of Central Lancashire、和歌山大学特別主幹教授、国際観光学センター(仮称)設置準備室副室長) 主催：和歌山大学観光学部、和歌山大学国際観光学研究センター(仮称)設置準備室 後援：EUインスティテュート関西</p>	<p>和歌山大学 観光学部棟T101教室</p>
<p>2015年 12月18日(金) 16時30分～18時</p>	<p>和歌山の地域資源を考えるセミナーⅠ 「紀州高野組子細工」 講師：池田 秀峯 (池田清吉建具二代目、紀州高野組子細工師七代目、高野山金剛峯寺承認/厚生労働省認定一級技能師、和歌山大学学生自主創造センターシニアアドバイザー、和歌山県職業訓練指導員、厚生省ものづくりマスター)</p>	<p>和歌山大学 観光学部棟2階 多目的スペース</p>
<p>2016年 1月28日(木) 13時～16時</p>	<p>田中光敏監督講演会 「観光プロモーションビデオで描く地方の魅力」 講師：田中 光敏(映画監督) 主催：(一社)あわらし観光協会・あわらし 共催：和歌山大学観光学部 後援：和歌山県、和歌山市、串本町 協力：(株)クリエイターズユニオン、田中光敏事務所、A-LOVE</p>	<p>和歌山大学 基礎教育棟G101教室</p>
<p>2016年 3月8日(火) 10時～15時30分</p>	<p>国際シンポジウム 「Tourism and Sustainability ～An interdisciplinary discussion of environmental humanities and sustainability in Tourism～」 ■Session 1 “Sensitive Practicalities” ・Critical Tourism Studies and The World: Opening up debate on sense, praxis and creation (Associate Professor. Adam Doering) ・Sentimental Sojourns: The Geopolitics of Volunteer Tourism in Northern Thailand (Dr. Mary Mostafanezhad) ・Tourism building Community of Compassion - Restoring spiritual connections with the land in the evacuated village of Fukushima, Japan (Professor. Kumi Kato) ■Session 2 “Practical Sensitivities” ・Pan Asia Pacific Perspectives of Tourism and Traditional Culture: Sustainable and Beneficial or Profane and Incongruous? (Dr. Joseph Cheer) ・Interactions between tourists and wildlife (Dr. Georgette Leah Burns) ・Whaling heritage and tourism development (Mr. Simon Wearne) ■Panel Discussion 主催：和歌山大学観光学部、和歌山大学国際観光学研究センター(仮称)設置準備室</p>	<p>和歌山大学 観光学部棟T101教室</p>

2016 (平成 28) 年度	2016 年 9月28日(水) 15時~17時	World Tourism Day 世界観光の日 記念講演会 「Tourism "Education" for All」 講師：Prof. Richard Sharpley (セントラル・ランカシャー大学観光学 教授、和歌山大学特別主幹教授) 主催：和歌山大学観光学部、国際観光学研究センター、阪南大学、関西観光教育コンソーシアム	阪南大学 あべのハルカスキャンパス セミナール室
	2016 年 10月8日(土) 10月22日(土) 11月12日(土) 11月26日(土) 12月17日(土) いずれも11時~16時45分	「観光産業を担う中核人材育成講座」 ■10月8日(土) ・「宿泊事業と観光政策」 森下 晶美氏(観光庁観光産業課 課長補佐、東洋大学国際地域学部 教授) ・「観光産業概観」廣岡 裕一氏(和歌山大学観光学部 教授) ・「宿泊事業の経営戦略」橋本 俊作氏(琉球大学観光産業課学部 教授) ■10月22日(土) ・「宿泊事業の会計と財務」八島 雄士氏(和歌山大学観光学部 教授) ・「旅行業と宿泊業の関係・OTA との関係」宮口 直人氏(株式会社ビズユナイテッド 代表取締役) ・「宿泊事業経営の面白さ」横田 浩氏(元紀州・白浜温泉むさし 総支配人) ■11月12日(土) ・「宿泊事業のマーケティング」李 貞順氏(阪南大学国際観光学部 准教授) ・「宿泊事業の革新」金井 哲修氏(陶泉 御所坊 主人) ・「ビジネスプランの設定とそのためのグループディスカッション」 ■11月26日(土) ・「宿泊業と従業員・労働生産性の向上」テイラー 雅子氏(大阪学院大学経営学部 教授) ・「海外から見た日本の宿泊」小野田 金司氏(神戸山手大学 学長補佐、同 現代社会学部 教授) ・「インバウンドの実際・FIT 化への対応」村山 慶輔氏(株式会社やまとごころ 代表取締役) ■12月17日(土) ・「ビジネスプラン発表に向けてのグループディスカッション」 ・「ビジネスプラン発表と講評」 実施主体：観光庁 事業実施：和歌山大学 運営協力：関西観光教育コンソーシアム、阪南大学 委託事業者：公益財団法人 日本ケアフィット共育機構 大阪事業所 後援：一般社団法人 日本旅館協会、 全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会	公益財団法人 日本 ケアフィット共育 機構 大阪事業所、 および 阪南大学あべのハ ルカスキャンパス
	2016 年 12月17日(土) 12時30分~14時	「和歌山大学観光学部 ミニ・オープンキャンパス in 東京」 プログラム： 1.学部長挨拶 2.和歌山大学観光学部紹介 3.卒業生+学生リレートーク、質疑応答 登壇者： ・芝 めぐみ(1期生、和歌山県庁) ・納村 悠希(5期生、株式会社星野リゾート) ・梶田 太陽(10期生、観光学部1回生) 主催：和歌山大学観光学部、国際観光学研究センター	フクラシア品川 クリスタルスクエ ア (港南口) 2階 会議室C
	2017 年 2月23日(木) 10時~15時	「世界遺産の順応的ガバナンスとその守り手としてのサステイナブル・ツーリズム」 基調講演講師： ・吉田 正人氏(筑波大学大学院人間総合科学研究科世界遺産専攻 専攻長・教授 IUCN 世界保護地域委員会委員) ・福永 真弓氏(東京大学大学准教授) 主催：和歌山大学観光学部、国際観光学研究センター	和歌山大学 国際観光学研究セ ンター会議室

13. 観光学部／和歌山大学観光学会発行 各種出版物一覧



■ 著書

署名	編著者名	発行元	発行日
和歌山大学観光学部設置記念論集	和歌山大学観光学部	和歌山大学観光学部	2009年3月
現代の観光とブランド	大橋昭一	同文館出版	2013年3月
ここからはじめる観光学	大橋昭一、山田良治、神田孝治	ナカニシヤ出版	2016年12月

■ 報告書／論文集

署名	編著者名	発行元	発行日
観光振興からの地域ルネサンスの研究 ビジネスモデル構築の試み	和歌山大学観光学部	和歌山大学観光学部	2010年3月
観光概念の革新によるブランディングビジネスモデルの創造 第1回中間報告書	和歌山大学観光学部	和歌山大学観光学部	2011年3月

観光概念の革新によるブランディングビジネスモデルの創造 第2回中間報告書	和歌山大学観光学部	和歌山大学観光学部	2012年3月
Academic World of Tourism Studies Vol.1	和歌山大学観光学部	和歌山大学観光学部	2012年8月
観光概念の革新によるブランディングビジネスモデルの創造 最終報告書	和歌山大学観光学部	和歌山大学観光学部	2013年3月
観光学研究への誘い	和歌山大学大学院 観光学研究科	和歌山大学大学院 観光学研究科	2013年3月
観光研究の高度化・国際化推進による次世代型観光モデル創出プロジェクト 第1回中間報告書	和歌山大学観光学部	和歌山大学観光学部	2014年3月
観光研究の高度化・国際化推進による次世代型観光モデル創出プロジェクト 報告書(2014年度)	和歌山大学観光学部	和歌山大学観光学部	2015年3月
2014地域インターンシッププログラム活動報告書	和歌山大学観光学部	和歌山大学観光学部	2015年3月
観光研究におけるアジアのハブ拠点の構築に向けた研究高度化・国際化プロジェクト報告書(2015年度) I	和歌山大学 国際観光学研究センター(仮称)設置準備室	和歌山大学 国際観光学研究センター(仮称)設置準備室	2016年3月
Developing an Asian Hub for the Advancement and Internationalisation of Tourism Research: A Project Report 2015 II	和歌山大学 国際観光学研究センター(仮称)設置準備室	和歌山大学 国際観光学研究センター(仮称)設置準備室	2016年3月
"観光研究の高度化・国際化推進による次世代型観光モデル創出プロジェクト報告書(2015年度) I II"	和歌山大学観光学部、 和歌山大学 国際観光学研究センター(仮称)設置準備室	和歌山大学観光学部、 和歌山大学 国際観光学研究センター(仮称)設置準備室	2016年3月
Developing an Innovative Model for the Advancement and Internationalisation of Tourism Research: A Project Report 2015 II	和歌山大学観光学部、 和歌山大学 国際観光学研究センター(仮称)設置準備室	和歌山大学観光学部、 和歌山大学 国際観光学研究センター(仮称)設置準備室	2016年3月
2015地域インターンシッププログラム活動報告書	和歌山大学観光学部	和歌山大学観光学部	2016年3月
2016地域インターンシッププログラム 活動報告書	和歌山大学観光学部	和歌山大学観光学部	2017年3月

『観光学』 和歌山大学観光学会会誌

号数	掲載論文等		発行日
001	論文	コミュニティ基盤観光経営理論の諸類型—観光地コラボレーション理論の形成—	大橋 昭一
		サイエンスカフェにおける音楽のホスピタリティ効果について	尾久土正己、中串 孝志、吉住千亜紀、 米山 龍介、矢動丸 泰、渡辺 政隆
		風景映像の昼夜連続撮影のための露出補正制御	小澤 友彦、矢動丸 泰、布施 哲治、 吉住千亜紀、尾久土正己
		Intangible Cultural Heritage, Spirituality and Sustainability – towards a Holistic Understanding of Sustainability	加藤 久美
		観光と異文化間コミュニケーション —創造的翻訳への理論的取組	竹鼻 圭子、戸塚 敦子
		「公開体験学習会ツアーコンダクター」の観光教育的効果についての一考察	中串 孝志、中村 文子、小田 将人
		観光とファイナンス	西村 尚剛
002	論文	和歌山大学観光学部遠隔教育「ハワイの観光開発」の事例に基づく研究 —外国語による遠隔授業を通じて検証する観光教育の方向性—	東 悦子、戸塚 敦子、 ラッセル・ウエノ、肥田木 元春
		観光学研究の方法論的理論的諸方向 —観光学研究パラダイムの整理の試み—	大橋 昭一
	研究ノート	観光関連法規紹介	澤田 知樹
		観光と茶の湯に見られる非日常の洗練と成熟 —希求される「もう一つの日常」	竹鼻 圭子
		観光戦略における支配に関する一考察	竹林 浩志
判例研究	観光資源としての「食」の重要性についての考察	松谷 真紀	
調査報告	マリアナの危険性を告知する義務及びツアー後の注意喚起義務を怠ったことに対する旅行業者に対する損害賠償請求事件	廣岡 裕一	
003	論文	農村レストラン利用客の「食」と「農」に関する意識調査結果 —和歌山県田辺市「秋津野ガルテン」付設レストラン「みかん畑」を事例に—	上村 智秋、芝 めぐみ、高砂 有以、 町田 翔、山内江里子、谷口 玲恵、 大浦 由美、澤田 知樹、藤田 武弘
		地域イメージの規定因 —和歌山県の地域イメージとその規定因に関する消費者調査結果をもとに—	大津 正和
	研究ノート	モビリティ・パラダイム論の展開 —モビリティ資本主義論の提起—	大橋 昭一
		近年における観光資源としての「食」の重要性の変化に関する分析	松谷 真紀
004	研究論文	観光デジタルドームシアターシステムの構築とその実践	吉住千亜紀、尾久土正己
		訪日パッケージ旅行から見る日本の観光資源とそのアプローチ方法 —観光とドイツのパッケージ旅行商品からの考察—	李 貞順、廣岡 裕一
		旅行商品流通におけるビジネス革新 —イノベーションとしてのインターネット宿泊予約—	大津 正和
		ブランド・リレーションシップ論の展開過程 —ブランド理論進展の一側面—	大橋 昭一
		沖縄イメージの変容と観光の関係性 —米軍統治時代から本土復帰直後を中心として—	神田 孝治
		地域特産品のブランディングに関する考察 —和歌山県下の特産食品ブランディングの現状と課題—	松谷 真紀

	実践論文	皆既日食における観光動向から見た奄美大島の観光戦略	尾久土正己、川元 美咲、中串 孝志	
		スカイプ実況中継による和歌山・オーストラリア通信授業の試み	東 悦子、加藤 久美	
	調査報告	和歌山県田辺市龍神村における地域再生方策に関する調査結果 ー宿泊施設のホームページ分析と住民ヒアリング調査をもとにー	馬場 景子、日高 紗穂、松本 更子、 伊東 早織、豊田 菜々、吉澤亜由美、 横山 咲子、町田 翔、大浦 由美、 藤田 武弘	
	観光フォーラム	ヨーロッパの歩道	大橋 昭一	
	書評	大橋昭一著『観光の思想と理論』（文真堂、2010年6月、x+256頁）	岡野 英伸	
005	研究論文	和歌山県イメージ形成への県産品認知の影響	大津 正和	2011年7月
		現代レジャー理論の一考察 ーポストモダンティ・レジャー理論を展望してー	大橋 昭一	
		住民による訪問者受け入れ意識の影響要因 ー地域ブランド構築の観点からー	竹田 明弘、佐々木 壮太郎、 竹林 明	
		地域特産品のブランディングに向けた課題への考察	松谷 真紀	
	研究ノート	キャンプ・マックネア周辺における遊興地の成立と地域社会 ー山梨県南都留郡中野村山中地区を事例としてー	神田 孝治	
	調査報告	地域の活性化とたま駅長 ー和歌山電鐵貴志駅へのフィールドワークを通してー	松浪 由佳、田辺 祥子、荻 彩音、 東 悦子	
	観光フォーラム	スイス探訪 ーチューリヒからベルンを経てツェルマツトまでー	竹林 明	
	翻訳	『茶ー利休と今をつなぐ』千宗屋、2010年11月、新潮新書、新潮社：東京 第一章 誤解される茶の湯	竹鼻 圭子	
	書評	山田良治著『私的空間と公共性』（日本経済評論社、2010年7月）	高橋 寿一	
006	研究論文	自己回帰実数と分移動平均モデルを使用した観光需要予測に関する考察	大井 達雄	2012年1月
		ポランディア・ツーリズム論の現状と動向 ーツーリズムの新しい動向の考察ー	大橋 昭一	
		与論島観光におけるイメージの変容と現地の反応	神田 孝治	
		現行の旅行業法の限界と旅行業約款の課題	廣岡 裕一	
	研究ノート	「都市美」「都市デザイン」論の位相に関する一考察	堀田祐三子	
		実験サイト「和歌山観光情報」におけるアクセス解析 ー地域キーワード〈和歌山〉による検索からの訪問ー	田中 豪	
		田辺市の地域産業連関表に基づく地域経済構造の分析	前田 穰	
	調査報告	地域ブランディングにおける地域特産品ブランディングに関する考察	松谷 真紀	
		観光ぶどう農園の来園者にみる都市農村交流への関心についての意識調査結果 ー和歌山県伊都郡かつらぎ町御所地区を事例にー	田又あすか、的場 朱里、山根 絵美、 山本 彩佳、藤田 武弘、大浦 由美	
		JA農産物直売所における来店者の農業・地域農産物に対する意識調査結果 ー大阪府岸和田市JAいずみの「愛彩ランド」を事例にー	堀野 涼子、田又あすか、平野 竜司、 藤原 佳代、山根 絵美、山本 彩佳、 大浦 由美、藤田 武弘	
翻訳	「カフェ・シアンティフィック、再び」ダンカン・ダラス著	中串 孝志		
作品	米山龍介 オーボエ&ソプラノの世界	米山 龍介		
007	研究論文	モダンティ基礎ツーリズム論の展開 ー現代ツーリズム原論の一形態ー	大橋 昭一	2012年7月
		地域特産品ブランディングと地域イメージ ー和歌山県下市町のイメージに対する特産品認知度の影響についての実証研究結果からー	松谷 真紀	
	研究ノート	白川郷へのアニメ聖地巡礼と現地の反応 ー場所イメージおよび観光客をめぐる文化政治ー	神田 孝治	
		ブランドと観光産業についての一考察	西村 尚剛	
	観光フォーラム	コピーレフト論	大橋 昭一	
	翻訳	『茶ー利休と今をつなぐ』千宗屋、2010年11月、新潮新書、新潮社：東京 第二章 茶の湯の歴史を駆け足で	竹鼻 圭子	
	観光学会論文賞	平成23年度最優秀卒業論文 雑誌『婦人世界』にみる戦前期主婦の余暇 ー良妻賢母主義との関係性および労働との混淆に注目した考察ー	大前 友紀	
平成23年度優秀卒業論文 市民農園を活用した農業・農村の展望 ー農事組合法人 伊賀の里モクモク手づくりファームにみる都市農村交流ー		町田 翔		
008	研究論文	連続テレビ小説「カーネーション」による経済効果の計測 ー観光消費額を中心としてー	大井 達雄	2013年3月
		ツーリズムの定義と概念に関する一考察	大橋 昭一	
		ーツーリズム概念の革新を目指す一つの試みー	廣岡 裕一	
		旅行商品としてのツアーバスの考察	松谷 真紀	
	調査報告	地域の認知度による地域特産品のイメージへの影響	大橋 昭一	
		J A農産物直売所設置にともなう生産者の意識変化 ー大阪府岸和田市JAいずみの「愛彩ランド」出荷部会へのアンケート調査結果ー	藤田 武弘、堀野 涼子、木川 夏香、 清原 大地、中村 文香、藤井 至、 大浦 由美	
観光フォーラム	批判的ツーリズム研究国際的大会の動向	大橋 昭一		
	翻訳	『茶ー利休と今をつなぐ』千宗屋、2010年11月、新潮新書、新潮社 第三章 茶家に生まれて 第四章 利休とは何ものか	竹鼻 圭子	
009	研究論文	Y世代とツーリズム ーツーリズムに革新的新しい方向をもたらすものかー	大橋 昭一	2013年9月
	翻訳	『茶ー利休と今をつなぐ』千宗屋、2010年11月、新潮新書、新潮社 第五章 茶席に呼ばれたら	竹鼻 圭子	
	書評	森 正人 著『ハゲに悩む一劣等感の社会史』筑摩書房、2013年	神田 孝治	
	講演記録	「イギリスにおける観光教育」 サリー大学 観光・ホスピタリティマネジメント学部 学部長 グレアム・ミラー教授 関西観光教育コンソーシアム（仮称）設立準備会結成記念国際シンポジウム 和歌山大学観光学部（2013年3月24日）	和歌山大学観光学会編集委員会	

	和歌山大学観光学部卒業（修士）論文賞	平成24年度優秀卒業論文 耳掛け式小型カメラを使用したドーム映像の視聴実験	碓間 晴香		
	和歌山大学観光学部専任教員研究活動	2012年度 和歌山大学観光学部専任教員研究活動	和歌山大学観光学会編集委員会		
010	研究論文	統計分析から見た和歌山県の宿泊市場 個人ブランド理論の台頭 ―その基本的特色はどこにあるか―	大井 達雄 大橋 昭一	2014年3月	
	研究ノート	観光空間としての中心市街地のあり方に関する基礎的研究 ―若年層の和歌山市内日帰り旅行モニター調査の結果を通して―	堀田祐三子、永瀬 節治、山田 良治		
	観光フォーラム	定訳主義はほどほどに	大橋 昭一		
	翻訳	『茶―利休と今をつなぐ』千宗屋、2010年11月、新潮新書、新潮社 第六章 茶道具エッセンシャル	竹鼻 圭子		
011	研究論文	ポストモダンからトランスモダンへ ―現在社会のとらえ方の転換点―	大橋 昭一	2014年9月	
	観光フォーラム	アトランティックシティ物語	大橋 昭一		
	翻訳	『茶―利休と今をつなぐ』千宗屋、2010年11月、新潮新書、新潮社 第七章 深遠なる茶室	竹鼻 圭子		
	講演記録	「ダークツーリズム：ルワンダ、ジェノサイド跡地における観光経験」 セントラル・ランカシャー大学 リチャード・シャーブリー教授 2013年度 国際研究セミナー 和歌山大学観光学部、和歌山大学観光学会共催（2014年3月20日）	和歌山大学観光学会編集委員会		
	和歌山大学観光学部専任教員研究活動	2013年度 和歌山大学観光学部専任教員研究活動	和歌山大学観光学会編集委員会		
012	研究論文	観光地域福祉の概念とその可能性に関する理論的考察 観光事業論におけるアクターネットワーク理論の意義 ―ポスト・アクターネットワーク理論をふまえて― 都市農村交流活動における経済効果の可視化に関する一考察	上野山裕士 大橋 昭一、竹林 浩志 藤田 武弘、大井 達雄	2015年3月	
	実践論文	福島県内の避難指示区域等でない市街地と県外との外部被ばく線量比較	中串 孝志、古川 邦之		
	観光フォーラム	観光 (Kanko) を世界的用語に！	大橋 昭一		
	翻訳	『茶―利休と今をつなぐ』千宗屋、2010年11月、新潮新書、新潮社 第八章 茶事はコミュニケーション 前半	竹鼻 圭子		
	作品	米山龍介の世界 Vol.2 オーボエ&ソプラノ	米山 龍介		
	和歌山大学観光学部専任教員研究活動	2014年度 和歌山大学観光学部専任教員研究活動	和歌山大学観光学会編集委員会		
013	研究論文	近年におけるソーシャルツーリズムの展開 ―主要な関係機関の見解・取り組みの状況を中心に―	大橋 昭一	2015年9月	
	観光フォーラム	企業と会社 ―2014年会社法改正にちなんで―	大橋 昭一		
	翻訳	『茶―利休と今をつなぐ』千宗屋、2010年11月、新潮新書、新潮社 第八章 茶事はコミュニケーション 後半	竹鼻 圭子		
	作品	飯田市の文化資源を活用した全天周映像番組	吉住千亜紀、尾久土正己、村松 武		
	川端保至先生退任記念特集 寄稿論文	位置情報サービスの利用と消費者の意識 リーダーシップ研究におけるオハイオ研究の功罪	佐々木 壮太郎 竹林 浩志		
014	研究論文	空間的自己相関を用いた地域観光クラスター分析 ―和歌山県と北海道による比較― ツーリズムの記号論的展開過程 一わが国における観光概念の規定の前進のために― 韓国における「探訪予約・ガイド制度」の展開と地域社会への影響 一チリサン国立公園チルソン渓谷周辺地域を事例として―	大井 達雄 大橋 昭一 曹 禎敏、大浦 由美	2016年3月	
	研究ノート	認知症カフェにおける世代間交流 ―地域インターンシップ・プログラムでの実践を事例に― 映像表現についての一考察	上野山裕士 豊谷 納、米山 龍介		
	観光フォーラム	単式簿記から複式簿記へ ―観光経営の土台をしっかりと―	大橋 昭一		
	研究論文	地域における新たなつながりの創出に関する研究 ―広川町津木地区における大学生の活動事例を通じて― トランスディシプリナリティ論の進展過程 ―ツーリズム論（観光学）の方法論的確立の観点から― Regenerating destination image and tourist arrivals using Recovery Marketing: The 2011 Tohoku Earthquake	上野山裕士 大橋 昭一 藤田友里佳		
015	観光フォーラム	「観光の権利」をめぐる	大橋 昭一	2016年9月	
016	研究論文	戦後日本の農家女性をめぐる研究の到達点と課題 「持続可能な発展」についての考え方 ―サステイナブル・ディベロップメントとサステイナビリティとの異同を中心に― 東京都所管文化財庭園の観光を含めた活用の展望 日本における都市農村交流をめぐる時代背景の変化と研究の特徴 ツーリズム2.0時代におけるソーシャルメディア商業化に関する理論的探索	植田 淳子 大橋 昭一 小野 健一 阪井加寿子 佐野 楓	2017年3月	
	実践論文	地域と学生との協働に対するサポートのあり方 ―紀美野町上神野地区における実践事例を通じて―	上野山裕士		
	研究ノート	六本木アートナイト 2015 が及ぼす経済波及効果の計測 ―観光消費額を中心として―	大井 達雄、青木 義英		
	観光フォーラム	ヨーロッパの「カタコンベ」など ―死者の扱われ方：東は東、西は西― Japan and the Culture of the Four Seasons “Introduction: Secondary Nature, Climate, and Landscape”の翻訳とノート	大橋 昭一 竹鼻 圭子		

和歌山大学観光学部専任教員研究活動	2015年度 和歌山大学観光学部専任教員研究活動	和歌山大学観光学会編集委員会	
-------------------	--------------------------	----------------	--

14. 観光学部特別研究員一覧（2013年度～2015年度）



(※1) 推薦時の所属 / (※2) 2016/4/1～和歌山大学国際観光学研究センター客員研究員へ移行

■ 称号：客員フェロー

氏名	所属（※1）	期間
笹森 琴絵	酪農学園大学 特任准教授、写真家、生物指導員	2013/11/1～2016/3/31（※2）
Barbara Toni HARTLEY	Senior lecturer, The University of Tasmania	2013/11/1～2015/10/31
Maryam (Shirin) Jamarani	Lecturer, School of Languages & Comparative Cultural Studies, The University of Queensland	2013/11/1～2015/10/31
James Hatley	Professor, Salisbury University	2013/11/1～2016/3/31（※2）
櫻井 敬人	太地町公民館歴史資料室	2013/11/1～2014/10/31 2015/4/1～2016/3/31（※2）
根川 幸男	ブラジリア大学 文学部外国語・翻訳学科 准教授	2014/4/1～2016/3/31
Richard Philip Gonzalo	フィリピン大学 アジアツーリズム研究所所長 助教授	2014/4/1～2016/3/31（※2）
Donna Weeks	Lecturer, University of Sunshine Coast	2014/4/1～2016/3/31（※2）
Tufan Turanli	トルコ海洋考古学研究所 (Institute of Nautical Archaeology)、テキサス A&M 大学 海洋考古学研究所研究員、串本町エルトゥール号発掘プロジェクト代表	2014/4/1～2016/3/31（※2）
吉田 潔	株式会社地域マーケティング研究所代表取締役、西日本工業大学・久留米大学非常勤講師 株式会社地域マーケティング研究所代表取締役、西日本工業大学・福岡大学非常勤講師	2014/4/1～2015/3/31 2015/4/1～2016/3/31（※2）
杉山 幹夫	株式会社スマップ代表取締役、教育と産業研究所所長 株式会社スマップ代表取締役、教育と産業研究所所長、Local wiki ジャパン編集長、Code for Sapporo 顧問	2014/4/1～2015/3/31 2015/4/1～2016/3/31（※2）
田中 正人	株式会社都市調査計画事務所	2014/10/1～2016/3/31
蘇 哲仁	Full Professor Fu Jen Catholic University Department of Restaurant, Hotel and Institutional Management, Taipei, Taiwan	2015/4/1～2016/3/31（※2）
荒井 経	東京藝術大学大学院美術研究科准教授	2015/4/1～2016/3/31（※2）
佐藤 芳文	国会図書館	2015/4/1～2016/3/31（※2）
Gordon J. Walker	Full Professor, Faculty of Physical Education and Recreation, University of Alberta	2016/4/1～2016/3/31
Thomas Duncan Hinch	Full Professor, Faculty of Physical Education and Recreation, University of Alberta	2016/4/1～2016/3/31
Joseph Cheer	Associate Director, Australian & International Tourism Research Unit (AITRU), National Centre for Australian Studies(NCAS) Lecturer, Graduate Tourism Program, Faculty of Arts, Monash University	2016/4/1～2016/3/31（※2）
Lynn Minnaert	Clinical Assistant professor, Tisch Center for Hospitality, Tourism, and Sports Management, University of New York	2016/4/1～2016/3/31（※2）
Hanquin Qiu	Professor, School of Tourism and Hospitality Management, Hkng Kong Polytechnic University	2016/4/1～2016/3/31（※2）
Anna Thompson	Senior Lecturer, Department of Tourism Co-Director, Centre for Recreation Research, University of Otago	2016/4/1～2016/3/31（※2）
Brent Lovelock	Associate Professor, Department of Tourism Co-Director, Centre for Recreation Research, University of Otago	2016/4/1～2016/3/31（※2）
野津 直樹	株式会社ナビタイム	2016/4/1～2016/3/31（※2）
岡田 美奈子	株式会社ジャタ、JATA ツーリズム EXPO ジャパン推進室、国際観光フォーラム担当 公益財団法人日本交通公社 客員研究員 株式会社やまごころ インバウンドビジネスコンサルタントおよび教育研修担当	2016/4/1～2016/3/31（※2）
森 正人	三重大学人文学部准教授	2016/4/1～2016/3/31（※2）

■ 称号：研究員

氏名	所属（※1）	期間
永井 隼人	PhD Candidate Tourism Cluster, UQ Business School, The University of Queensland	2013/11/1～2016/3/31
雨森 直也	立命館大学大学院文学研究科人文学専攻地理学専修	2013/11/1～2015/10/31
鱧谷 納	—	2013/11/1～2016/3/31（※2）
Carl Lindh	In Edit Mode Press（出版社）代表、サウンドアーティスト	2014/4/1～2016/3/31（※2）
松谷 真紀	大阪府立大学大学院経済学研究科博士後期課程（経済学専攻 観光・地域創造分野）	2014/4/1～2015/3/31
Lintje SIE	PhD Candidate Tourism Cluster, UQ Business School, The University of Queensland	2014/10/1～2016/3/31（※2）
Jay Alabaster	太地町公民館歴史資料室 研究生	2015/4/1～2016/3/31
長坂 契那	—	2016/4/1～2016/3/31（※2）

15. 学生表彰一覧



■ 成績優秀学生表彰（2010年度～）

年度	タイトル	学生番号	氏名
2010（平成22）年度	平成22年度成績最優秀学生	27011074	宮本 寛子
	平成22年度成績優秀学生	27011001	新井 裕美子
	平成22年度成績優秀学生	27011034	芝 めぐみ
2011（平成23）年度	平成23年度成績最優秀学生	27021016	大前 友紀
	平成23年度成績優秀学生	27021058	殿塚 暁子
	平成23年度成績優秀学生	27021088	松浪 由佳
2012（平成24）年度	平成24年度成績最優秀学生	27031072	裕間 晴香
	平成24年度成績優秀学生	27031106	山本 彩佳
	平成24年度成績優秀学生	27031006	井上 舞
	平成24年度成績優秀学生	27031059	寺田 明弘
2013（平成25）年度	平成25年度成績最優秀学生	27041091	藤井 至
	平成25年度成績優秀学生	27041063	田中 直視
	平成25年度成績優秀学生	27041075	中村 文香
2014（平成26）年度	平成26年度成績最優秀学生	27051026	金子 真也
	平成26年度成績優秀学生	27051005	磯田 真理子
	平成26年度成績優秀学生	27051115	山田 双葉
2015（平成27）年度	平成27年度成績最優秀学生	27061042	雑賀 紀子
	平成27年度成績優秀学生	27061020	大江 沙央里
	平成27年度成績優秀学生	27061089	廣田 早稀
2016（平成28）年度	平成28年度成績最優秀学生	27071098	別府 まゆみ
	平成28年度成績優秀学生	27071016	内芝 伶奈
	平成28年度成績優秀学生	27071025	岡部 華

■ 学部長表彰

受賞日	学生番号	氏名	表彰理由
2012年 3月15日	27031094	的場 朱里	第22回「ヤンマー学生懸賞論文（論文の部）」優秀賞（第3席） 「農業・農村の多角化と農家女性の役割」
	27031054	田又 あすか	
	27031105	山根 絵美	
	27031106	山本 彩佳	
2013年 1月10日	27031054	田又 あすか	観光学術学会 平成24年第1回全国大会 「学生ポスターセッション」優秀作品賞 「JA 農産物直売所における来店者の農業・地場農産物に対する意識 ー大阪府岸和田市 JA いずみの『愛彩ランド』を事例にー」
	27031083	平野 竜司	
	27031086	藤原 佳代	
	27031090	堀野 涼子	
	27031105	山根 絵美	
2013年 10月31日	27031106	山本 彩佳	観光学術学会 平成25年第2回全国大会 「学生ポスターセッション」優秀作品賞 「農村ワーキングホリデーを通してみた都市農村交流の「鏡効果」」
	27041091	藤井 至	
	27041043	佐藤 光里	
	27041068	辻 史朗	
2013年 12月19日	27031112	横山 咲子	大学生観光まちづくりコンテスト 2013 大阪府知事賞（審査員特別賞・西日本ステージ） 「だけじゃない大阪！！ ～大阪の中心から、大阪のてっぺん能勢へ～」
	27051084	藤原 実穂	
	27051095	松田 桃子	
	27051098	南 ありさ	

2014年 3月5日	27051010	イネスティラー・イアン・エドワード	第2回 産学連携オープンセミナー in 京都 学生による観光振興に関する研究発表 優秀賞 「“笑都”大阪の復権をめざして ～関西演芸推進協議会の取り組みを中心に～」
	27051045	齋藤 千有紀	
	27051062	中島 舞	
	27051069	仁科 樹	
	27051070	西中 満月	
2016年 1月21日	27051088	堀 千海	観光学術学会 平成27年第4回全国大会 「学生ポスターセッション」優秀作品賞 「被災地におけるコミュニティ・ベースド・ツーリズムー持続可能な地域発展にむけてー」
	27061041	近藤 真紀	
	27071029	小原 里穂	
	27071043	金 佳明	
	27071050	繁藝 ひな子	
2016年 1月21日	27071057	高野 愛梨	観光学術学会 平成27年第4回全国大会 「学生ポスターセッション」優秀作品賞 「都市農村交流を通じた地域づくりの可能性に関する研究 ー先発地飯田市を事例に」
	27061014	今井 寿樹	
	27061045	坂口 未紗	
	27061081	貴田 理紗	
	27071011	稲葉 修武	
2016年 2月18日	27071019	及川 美雲	スペイン サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学でのプレゼンテーション
	27071091	平山 美和子	
	27051061	永尾 愛	
2016年 2月18日	27061019	漆畑 加那	第5回 関西空発「学生と旅行会社でつくる」海外旅行準グランプリ 「海外旅行は今のうち！本場で魔法にかかる1週間！まさに夢のようなイギリス3都市周遊の旅！（対象国：イギリス）」
	27081005	阿部 麦穂	
	27061038	木津 京介	
2016年 2月18日	27061040	小池 美紗	第6回 関西空発「学生と旅行会社でつくる」海外旅行 準グランプリ 「知ってた？アナ雪の舞台って... ノルウェーだったの！？」 「ありのままのノルウェー魅力探しの旅-」
	27061092	藤原 早那	
	27071013	今井 篤弘	
	27071017	榎 裕彩	
2016年 4月21日	27071077	中西 真以	2016 Best Student Paper Award 「The intentions of volunteering at the Tokyo 2020 Olympic and Paralympic Games and past volunteer experiences: The roles of different types of volunteer activities」
	27071090	平田 千智	
	27081011	伊藤 愛	
	27081052	佐竹 真由	
2016年 9月21日	27081056	神野 あきら	観光学術学会 平成28年第5回全国大会 「学生ポスターセッション」最優秀作品賞 「アート活動を通じた地域のアイデンティティの再考 ー北加賀屋における工場跡地の芸術・文化的利用がもたらす地域への影響」
	27081060	砂田 悠花	
2016年 11月10日	27081102	八木 悠太	UNWTO Tourism Highlight 2016 の日本版出版への協力 ～日本語訳、および世界観光の日セミナーについての発表
	27081013	岩永 沙緒理	
	27081054	嶋川 久瑠実	
	27039007	ブロガノ リカルド ニコラス	
	27071070	張 偉慧	
	27071090	平田 千智	
	27081016	遠藤 まりか	
	27081062	高竹 瑞恵	
	27081065	武内 芽生	
2016年 11月10日	27081067	田村 滯	UNWTO 国際会議・地域大会におけるリエゾンスタッフとしての貢献（2016年6月1～4日、奈良）
	27081095	村田 直寛	
	27101012	泉 妃名子	
	27101017	岩谷 優花	
	27039007	ブロガノ リカルド ニコラス	
	27071007	泉川 萌子	
	27071036	唐崎 翔太	
	27071070	張 偉慧	
	27071090	平田 千智	
	27081016	遠藤 まりか	
2017年 2月16日	27081054	嶋川 久瑠実	PATA Student Chapter リーダーとして Student Chapter 創立に貢献
	27081062	高竹 瑞恵	
2017年 3月9日	27081065	武内 芽生	第18回 キャンパスベンチャーグランプリ大阪大会 佳作
	27081067	田村 滯	
	27081095	村田 直寛	
2017年 3月9日	27081115	梓谷 愛音	和歌山市加太における「Kisssh-Kisssssh 映画祭」開催に関する取り組み
	27061082	野尻野 翼	
	27062206	水谷 陽太郎	
	27081016	遠藤 まりか	

観光学部卒業論文賞／観光学研究科修士論文賞（2011年度～）

年度	タイトル	学生番号	氏名	論文タイトル
2011(平成23)年度	平成23年度 最優秀卒業論文賞	27021016	大前 友紀	雑誌『婦人世界』にみる戦前期主婦の余暇 —良妻賢母主義との関係性および労働との混淆に注目した考察—
	平成23年度 優秀卒業論文賞	27011067	町田 翔	市民農園を活用した農業・農村の展望 —農事組合法人 伊賀の里モクモク手づくりファームにみる都市農村交流—
2012(平成24)年度	平成24年度 優秀卒業論文賞	27031072	碓間 晴香	耳掛け式小型カメラを使用したドーム映像の視聴実験
2013(平成25)年度	平成25年度 最優秀卒業論文賞	27041111	和田 尚子	1809年出版 Fick 観光ガイドブックの研究 ～Neues Handbuch für Reisende jeder Gattung durch Deutschland und die angränzenden Länder～ —ベデカー (Badeker) 以前の観光ガイドブックの目的と内容—
	平成25年度 優秀卒業論文賞	27041033	北野 有希子	47 都道府県観光情報サイトにおけるデザインの有効性
	平成25年度 優秀卒業論文賞	27031112	横山 咲子	道の駅を活用した地域活性化の取組に関する考察 —広島県神石郡神石高原町「道の駅さんわ 182 ステーション」を事例に—
	平成25年度 最優秀修士論文賞	27020008	林 娘庭	写真を用いた観光客のコミュニケーションについての考察
	平成25年度 優秀修士論文賞	27020001	勝野 奏	十津川村「谷瀬の吊り橋」にみる観光資源としての橋に関する考察
	平成25年度 優秀修士論文賞	27020002	曹 禎敏	地元地域の関与による自然観光資源保全のあり方 —日韓における探訪予約・ガイド制度を事例として—
2014(平成26)年度	平成26年度 最優秀卒業論文賞	27051039	乗原 由衣	学生アルバイトの5 因子性格特性がバーンアウトに及ぼす影響の検討
	平成26年度 優秀卒業論文賞	27051056	谷口 貴子	有田川町あらぎ島における観光サイン設置のための調査
	平成26年度 優秀卒業論文賞	27051082	廣田 千安紀	都市地域における農業の多様な担い手 —大阪府準農家制度を事例に—
	平成26年度 最優秀修士論文賞	27030010	森田 浩司	ウェルネス需要に対応する「リトリート型滞在スタイル提供」による温泉観光地活性化について
	平成26年度 優秀修士論文賞	27030006	Gueugneau Eric	Study on the tourism governance and management of World Heritage pilgrimage routes in their principal cities: Comparative analysis of Le Puy-en-Velay (France) and Tanabe (Japan)
2015(平成27)年度	平成27年度 最優秀卒業論文賞	27061096	前田 航一	南砺市五箇山地域を対象とした観光関連計画に関する研究 -「生きた文化遺産」を取り巻く観光施策の変遷と可能性-
	平成27年度 優秀卒業論文賞	27061022	太田 真里亜	絶滅危惧種とエコツアー ～奄美大島・アマミノクロウサギを例に～
	平成27年度 優秀卒業論文賞	27061041	近藤 真紀	エコツーリズム開発における外部アクターの動向についての考察- フィリピンボホール州トゥビゴン市を事例に-
	平成27年度 最優秀修士論文賞	27040007	藤井 至	域学連携型農村ワーキングホリデーによる地域コミュニティの変容 —ソーシャル・キャピタルの経年比較分析から—
	平成27年度 優秀修士論文賞	27040001	明山 文代	高野山における宿坊の変容と観光
2016(平成28)年度	平成28年度 最優秀卒業論文賞	27061006	家谷 翔太	植民地ツーリズムと台湾における「日本統治時代の建築物」 —新規性のあるツーリズムの形態の確立—
	平成28年度 優秀卒業論文賞	27071016	内芝 伶奈	クチコミサイトにおける評価項目と参考値の関係 —どのようなクチコミが参考にされるのか—
	平成28年度 優秀卒業論文賞	27071045	小澤 秀斗	大阪ミナミのエリアマネジメント活動に関する研究 ～南海難波駅周辺におけるエリアマネジメント組織に着目して～
	平成28年度 最優秀修士論文賞	27050005	中谷 吉弘	アラブ首長国連邦・カタール・クウェートにおけるイスラム教徒訪日観光意識の研究
	平成28年度 優秀修士論文賞	27050010	渡邊 宰	行政による支援事業が地域づくり団体に与える影響に関する研究 —ひょうごふるさとづくり青年隊事業を事例に—

16. 紀州高野組子細工「高野山黎明」



観光学部棟多目的ホールを彩る紀州高野組子細工「高野山黎明」は、観光学部棟の竣工を記念して紀州高野組子細工師の池田秀峯氏により制作されました。「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録と国立大学初の観光学部設置が同時期であったことを受け、双方の結びつきによる和歌山の発展と、世界遺産、和歌山大学、そして古くから伝わる匠の技術を世界へ伝えることが願いとして込められています。

※ 「高野山黎明」は、2011年の竣工以来、観光学部棟多目的ホールに展示されていましたが、クロスカルセンターで進めていた地域資源を活かした「博物館構想」のもと、作品を貴重な観光資源のひとつとして和歌山県伝統工芸品の使命を広く国内外の一般に発信し、日本の文化と伝統技術を示すとともに学生の博物館実習にも活用するため、観光学部棟からクロスカルセンターに移設しました。

紀州高野組子細工とは、江戸時代、高野山の寺院復興のために京都から呼ばれた腕利きの組子職人が高野の地で伝えた技術が発展したもので、釘や金具を一切使わず細かく挽き割った木材を手作業で組み上げ幾何学模様を編み出していく伝統技法です。